

DENKO

大阪経済大学同窓会通信

経大人のための情報誌

激江

2007年 43号

理事長インタビュー

真銅孝三理事長に聞く

体育会連絡協議会

メンバーによる座談会

大学の知名度アップに貢献したい

ブームアップ！経大人

杉山誠二氏 藤原俊明氏 長谷川宗平氏





真銅孝三理事長に聞く

与えられたステージで主役になれ。

今春の大学入試で私立の4年制大学の39.5%が定員割れだったという。大学全入時代の到来で、私学のみならず国公立大学も含めて学校の経営は、まさに冬の時代を迎えている。こうした厳しい環境を反映してか、新日本製鉄で経営・組織改革の企画・立案を担当した吉武博通氏が、その手腕を買われて筑波大学の副学長に就任し、大学経営に成果を挙げているほか、松下電産相談役の森下洋一氏が関西学院大学の副理事長にこの度就任するなど、産業界で活躍した実業家が、学校経営で腕を振るうようになってきた。本学においても、倉敷紡績の社長、会長、関西生産性本部会長などを歴任し産業界・財界で活躍された真銅孝三氏を理事長に迎え、5年後の創立80周年をステップとしてさらなる飛躍を期待している。そこで昨年10月、松谷前理事長の後任として急遽登板された真銅孝三理事長に大学経営のあり方、その取り組み方について聞いてみた。

(聞き手は同窓会副会長、広報部長・森川義二)

DENKO 経大
大阪経済大学同窓会通信 2007年43号

02 理事長インタビュー 真銅孝三理事長に聞く

- 06 会長挨拶
- 07 学長挨拶
- 08 みみよりトピックス
入試データ/就職状況
- 09 パソコン教室
- 10 支部だより
全国支部からのお知らせ
- 20 北から南から
同窓生からのメッセージ
- 27 OB NETWORK
同期生OB会、クラブOB会、ゼミOB会
- 38 本の紹介
近江商人ものしり帖
儲けてなんぼ!法人営業実習ノート
新・倫理考―「分かち合い」の発見―
- 40 ゼミ短信
先生方からのメッセージ
- 42 本部だより
- 45 事務局だより
体育会連絡協議会メンバーによる座談会
- 46 大学の知名度アップに
貢献したい
- 51 ズームアップ! 経大人
杉山誠一氏/藤原俊明氏/長谷川宗平氏
- 53 初代学長黒正巖先生のビデオ紹介
- 54 平成19年度総会



何事にも節度を守れ。

―理事長就任後はや1年を経過しました。いまさら理事長の紹介というのかもしれませんが、同窓生の皆さんに、一層理事長のひととなりを理解していただくためにお願いします。大阪のご出身だそうですね。

真銅 羽曳野市出身で、旧制富田林中学（現在の大阪府立富田林高校）から旧制浪速高等学校（現在の大阪大学教養学部）、東京大学へと進みました。当時の富田林中学は陸上競技部が強く、そこで活躍し4年生の

時、次のキャプテンはお前だと言われていました。それが幻の陸上競技部主将に終わってしまったんです。

―どうしてですか。

真銅 前の同窓会会長田中富三さんは、同じ中学の1年先輩だったんですが、あの方が褒めてくださるほど秀才ではありませんでした。ところが、普通は中学5年で卒業するところを4年修了で進学したために、主将の座を経験せずに終わりました。私が卒業した年に、大阪府の大会で優勝したのですが、その喜びを仲間と一緒に味わえなかったのが残念でした。

―ラグビーがお好きで、真銅理事長の周りにはラグビー仲間が多いと聞いています。

真銅 高等学校へ入って足が速いのを買われてラグビー部に入りましたが、大学1年修了時に医者から肋膜炎を病んでいるのでラグビーは無理だと言われ断念したのです。後で医者の誤診だったとわかったんですが、このため東大のラグビー部は中退です。

―卒業して倉敷紡績を選ばれたのは…

真銅 特に理由はなかったんです。当時

朝鮮動乱に沸いた特需ブームが一段落し、先のバブル崩壊後のような景況で、就職戦線は大変厳しい時代でした。それに学校制度の変革によって、旧制大学最後の卒業生と新制大学の第1期卒業生が、同時に就職戦線に流れ込むといった事態になり、例年に比べて倍の学生が就職先を求めて歩くということになりました。

だから官庁関係も極めて狭き門になっていましたし、一度民間企業に就職が決まるとそれを断るということは許されず、官より先に受験した多くの学生は、官を捨て民間企業へ行ったものです。俗に「花の28年組」といわれる方々で、優秀な人材が広く散らばっていったものです。民間企業といっても鉄鋼、炭鉱、繊維といった重工業大型産業、それに旧国鉄、銀行、商社ぐらいで、トヨタ自動車でも名古屋大学しか採らなかった時代です。

―倉敷紡績では主にどんな業務を…

真銅 まったく選択の余地などなくて、大学時代労働法を専攻していたのだから労働がいいだろうということで労働部の配属になりました。当時は全国12ヶ所に工場がありまして、工場の労働課員が出发点でした。4年ほどで本社の労働課員になり、労使関係が波瀾含みの時代でしたから、いろいろのことを学ばせていた

だきました。

―たとえば…

真銅 たくさんありましたが、まず「何事にも節度を守れ」ということが一番大事だということを知られました。かつての旧国鉄労組のように、節度を越えた組合も悪ければ、それを越えさせた経営者側も悪い。守るべき節度ということが、人生の中でも大事だということを教えられました。

―その後財務の仕事へと…

真銅 財務の仕事をした時に思いましたが、財務経理専門の人はその知識が詳しく「木を見て森を見ず」と言われるように、ひとつひとつは詳しいのですが、大局的にまとめた視点に欠けます。この木が集まってどういう景色を構成しているか、会社全体の流れの中でどういう使命があるかということを簡潔に説明するよう教育しました。幸い学生時代の同期が役員になったりして、随分助けてもらいました。まあいろいろな業務をやりましたが、その時その時に与えられたステージでいかにそれを活用するかですよ。

私はよく言うのです。人生というのはそんなにステージを選べるものではない。途中で転職する人もあるけれども、

元の年齢には戻れないでしょう。一生をかけて何かをしようとすれば時間がかかる。となれば選んだステージの中で主役になれと、選んだ会社の中で、あるいはその部門の中で主役になれ、そしたらまた次の舞台がやってくる。私は人生とはそんなものだと思っています。

―社業と併行して財界活動にも身を入れることになる。とりわけ関西経済団体の再編を提唱する「経済団体のあり方を考える会」の座長を務め、大阪商工会議所と大阪工業会の合併に尽力されたことは、いまも語り草となっていますが。

真銅 関西経済連合会をはじめ5つの団体が存在すること自体ムダなことだという考えは持っていました。ただ、あの合併はすでにお決めのようになっておられたことで、私がやったということではありません。結果として、各団体間の重複する業務の整理に終わりましたが、今後の流れに一石を投じたことになりました。

―さて、そんな真銅さんが、今度は大阪経済大学の理事長になられた。その経緯を…

真銅 日本ベンチャーキャピタル会長の文箭安雄氏（高校以来の友人）から「大阪経済大学が理事長欠員で困っておられる。真銅君、ひとつ頼まれてくれんか」

と話を持ちかけられた。まさか自分が大学の理事長の職に就くなんて、考えもしておりませんでした。井阪前々理事長や重森学長から熱心に要請されたことだし、昭和商時代から経済・経営の名門校として知っておりましたし、関西財界から理事長を出してほしいと言われて誰もいないというわけにはいかないということで、結局私がお引き受けしたというわけです。

―10月末で就任1年を迎えました。学校に入ってみてどんな印象を…



MESSAGE

同窓会会長
中平 秀覧

同窓生の皆様にはつつがなくお過ごしのこととお喜び申し上げますとともに、平素から同窓会活動に、ご尽力を賜っておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

さて、同窓会は、先の井阪・田中ラインで確立された入口・出口論とでも申しましょう

か、一人でも多くの学生を経大へ送り込むと同時に、一般社会へ巣立つ学生を受け入れる側としての支援に注力し、母校の評価を一層高まるよう運動を展開して参りましたが、ここへ来てその効果が徐々に発揮されつつあると喜んでいるところです。

と申しますのも、少子化が叫ばれ定員割れ

つながる力に
同窓生のパワーを

学長はじめ教学関係者や職員の方々のご努力の賜と感謝しておりますが、先行きの大学教育を取り巻く環境は予断をゆるさない状況にあります。

そこで私達同窓生は、大学が新しく打ち出した社会に貢献する多彩な職業人を育てるというミッ

同窓会はその先頭に立つて、大学支援の輪を広めるべく努力する所存でありますので、同窓生各位の層のご支援をお願いしてやみません。

理事長は未来に対する責任を持つべきだ。



真銅 やはり経営の目は必要だ」ということはよくわかりました。ただ、私も76歳という年齢だし、次の理事長にしっかりと橋渡しすることだけは、引き受けた以上責任を持ってやろうという心境です。

—真銅理事長の就任を同窓生一同大きな期待感を持って見守っております。それというのも、急ピッチで進む少子化から

大学そのものの存続が問われる時代になっており、かつてのような学者の経営手法では、先行きの見通しが持てない状況にあります。あの関西学院大学ですら、松下電産の森下相談役を経営陣に入れたくらいです。この厳しい時代には、実業界の経営手法を導入しないと勝ち残れないと見ているからです。

真銅 理事長として、理事会をどう運営するべきか。学校を思う気持ちは教学の先生も理事会も同じなんです。そうした中で理事長は常に未来に対する責任を考へなくてはいいと思います。そして教学側は今に對して責任を持つ。今の学生をどう教育していくか、そのことを考える。この組織を10年先も20年先も存続させていくには、そのための財政基盤をどうするか、それを考えるのは教学の方には不得意でしょう。それは我々のやるべきことです。私は過去の歴史を未来に引き継ぐために経営基盤を確立することが理事者の取るべき道だと思っています。今大学を良くするために提唱している「実践力を備えた、世の中で活躍し貢献する多彩な職業人を育てる」というミッション・ステートメントの下、「つながる力NO.1をめざす」というブランディング戦略を展開し、来るべき80周年に向けて発信しようとしていることは誠に結構なことであり、一方、そのための具体策を経営の目から見ると判断し、理事

会で責任を持って舵取りしていく。このポリシーで明日を考える。これに同調してくれる人にバトンタッチしていきたいと思っています。

—最後に、理事長は東大友会の副会長、関西東大会の会長も務めておられましたが、経大同窓会に向けて一言お願いします。

真銅 同窓生の皆様の本学に対する思い入れ、熱意の高さに敬意を表したいと思います。それから同窓生の中には産業界のみならず、あらゆる分野で活躍しておられる方がたくさんおられます。総合大学と違いますが、経済・経営の専門分野で産業界からも高い評価を頂いております。どうか大阪経済大学の卒業生であることに自信を持って、ますます実力を発揮していただければと願っております。

—どうも長時間ありがとうございました。

ジョン・ステートメントのもと、人と人との出会い・交流を大切に、「つながる力NO.1をめざす」という大経大ブランド・ディン・グ戦略を全面的に支援し、これが一層効果あるものにするために、協力していこうではありませんか。

みみより トピックス

一般入試
高校別合格者
ベスト20

1	水口東 (滋賀県)	42	14	伊丹(県立) (兵庫県)	14
2	宝塚北 (兵庫県)	29	14	箕面自由学園 (大阪府)	14
3	三木 (兵庫県)	28	14	高槻北 (大阪府)	14
4	西宮(県立) (兵庫県)	26	14	葦合 (兵庫県)	14
5	三田西陵 (兵庫県)	25	18	関西大倉 (大阪府)	13
6	桜塚 (大阪府)	20	18	清教学園 (大阪府)	13
7	津山 (岡山県)	19	20	西宮今津 (兵庫県)	12
8	旭 (大阪府)	18	20	桜井 (奈良県)	12
9	加古川西 (兵庫県)	17	20	摂津 (大阪府)	12
10	上宮 (大阪府)	16	20	川西北陵 (兵庫県)	12
11	三田祥雲館 (兵庫県)	16	20	芦屋(県立) (兵庫県)	12
12	吹田東 (大阪府)	15	20	三田学園 (兵庫県)	12
12	鈴蘭台 (兵庫県)	15	20	八尾 (大阪府)	12

一般入試 都道府県別
志願者状況

北海道	21	福井県	99	広島県	151
青森県	1	長野県	15	山口県	56
岩手県	2	岐阜県	26	徳島県	122
宮城県	10	静岡県	29	香川県	194
山形県	3	愛知県	21	愛媛県	132
茨城県	14	三重県	139	高知県	47
栃木県	2	滋賀県	490	福岡県	62
群馬県	7	京都府	850	佐賀県	10
埼玉県	1	大阪府	3538	長崎県	25
千葉県	11	兵庫県	3062	熊本県	7
東京都	27	奈良県	544	大分県	7
神奈川県	1	和歌山県	292	宮崎県	35
新潟県	6	鳥取県	90	鹿児島県	12
富山県	61	島根県	95	沖縄県	2
石川県	120	岡山県	312	その他	176
		総計	10927		

※一般入試 (A方式+AS方式+B方式+BC方式+C方式+D方式)

主な就職先一覧 (2006年度)

- 建設業
 - 大成建設/奥村組土木興業/前田道路/穴吹工務店/穴吹ミサワホーム/エス・バイ・エル/住友林業/積水ハウス/タマホーム/大和システム/大和ハウス工業/日成ビルド工業/パナホーム/三木組/精研/セック/ダイナ/明星工業/サンユー/ダイケンエンジニアリング
- 製造業
 - 食品/加ト吉/麒麟麦酒/近畿コカ・コーラボトリング/キンレイ/四国コカ・コーラボトリング/日本食研/日本酪農協同/ヒガシマル醤油/三笠コカ・コーラボトリング/川島織物セルコン/キョーワ/トヨタ紡織九州/カイトック/京都西川/住江織物/太陽工業/瀧本/バリュープランニング/福協/ブルーミング中西/高衣料/山喜/ロマンズ小杉/大阪シーリング印刷/関西共同印刷所/廣済堂/三光産業/大日本印刷/三和化学研究所/大正製薬/万有製薬/祐徳薬品工業/イブサ/シーボン/エスケー化研/大橋化学工業/東邦化学工業/加賀ロー製作所/十川ゴム/バンド化学/サンユウ/住友銅管/中山銅業/淀川製鋼所/米子製鋼/タツタ電線/ダイジェット工業/古河オートモーティブパーツ/アルミタックス/イトーキ/エンゲイ/コロナ/サンコール/三洋工業/三和産業/タカギン製造/東洋シャッター/特殊電機/日東精工/ノリツ/フルサト工業/ベン/ミカド/美和ロック/アネスト岩田/片岡製作所/光洋機械工業/新ダイワ工業/ダイフク/大和冷機工業/ツバキエマシン/電業社機械製作所/中西製作所/ナスチック/ニチダ/ニッポ電機/日本テクノ/パンチ工業/日立建機/マキタ/山本金属製作所/小泉産業/三社電機製作所/東京エレクトロ/ニフロン/日本光電工業/アイコム/DXアンテナ/日本モック/スライ電子工業/月星製作所/本田技研工業/大日本スクリーン製造/ウッドワン/永大産業/タカラスタンダード/日本フネ/セックカートン/タナックス/ニチハ/日本トーカーパージュ/大和紙器/イナックス/ウベボード/クレノートン/ユニソフ/アイリスオーヤマ/エフビコ/トア/ヒノキ/フクビ化学工業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
 - 大晃設備
- 情報通信業
 - ジュビターテレコム/ハートネットワーク/USEN/アドヴァンスト・インフォメーション・デザイン/アルファシステムズ/イー・ウェーブ/NECトータル・インテグレーションサービス/エヌ・ティ・ティ・システム開発/エヌ・ティ・ティ・データ/エヌ・ティ・ティ・データ・システム技術/オーエジス総研/サイバーリンク/昭和システムエンジニアリング/情報技術開発/ソフトウェア・サービス/東海ソフト/トランスクスモ/ニッセイコンピュータ/ニッセイ情報テクノロジ/日本コンピュータサイエンス/日本コンピュータ・システム/日本システムディベロップメント/日立ソフトウェアエンジニアリング/富士ソフト/富士通エフ・アイ・ピー/毎日コミュニケーションズ/ユニシステム/ヴァンキュラムジャパン/サイネックス
- 運輸業
 - ウエダ・エムケイ/上組/関西日立物流サービス/キユーソー流通システム/鴻池運輸/ナミ運輸/中谷運輸/西日本旅客鉄道/日本梱包運輸倉庫/阪南倉庫/扶桑/関口/三井倉庫港運/名鉄運輸
- 卸売業
 - 岩谷産業/ドウシシャ/旭食品/飯田グループ/梅澤/カクヤス/加藤産業/サンエス/神明/シンワックス/大東大坂青果/ダイドードリンコ/トーホー/東海源粉/ハークスレイ/マンカ・システム・サービス/山星屋/アスワン/ウライ/共同企業体SSOK組合/清原/外与/村田長/リック/ヴィレッジヴァンガードコーポレーション/あらた/アルフレックス/クオレ/ケーエスケー/シノテスト/島田商会/ススケン/日理/ビップフジモト/美浜/明祥/伊藤忠エネクス/上原成商事/大丸エナヴィン/ペトロスター/関西/櫻野/北恵/三徳商事/通商/津田産業/丸紅建社/ライベック/井澤金属/井上定/近江産業/片山鉄建/古島/サステック/サンコーインダストリー/JFE商事建材販売/ダイネン/阪和工材/三井物産鉄鋼建材/メタルワン鉄鋼製品販売/英和/桜井グラフィックシステム/杉本商事/轟産業/光伝導機/ワシ/商事/ダイワ情報システム/因幡電機産業/カナデン/小泉成器/サン電子/昭和電気/たけでん/大電社/千代田組/日本電気機器/パナソニックコンシューママーケティング/富士エレクトロニクス/不二電機/扶洋/宝永電機/三菱電機ライフネットワーカー/八洲電機/リョーサン/エスピー・ケイ/ガリバーインターナショナル/トヨタ部品大阪共販/トヨタ部品兵庫共販/ナブテスコサービス/ブリヂストンタイヤ大阪販売/ブリヂストンタイヤ兵庫販売/カワノシ/大塚商会/キヤノンシステムアンドサポート/コクヨ近畿販売/サンリオ/日興商会/リコー/関西/エス・ケイ・ジャパン/エニシル/大阪屋/寒川商事/旭洋紙パルプ/ゼット/タカショー/タカラ/ダイワワグダ工業/ツカサ/フジモリ産業/ブリヂストンスポーツ西日本/平和紙業/三菱製紙販売
- 小売業
 - 丸九フラス関西/コメリ/そごう/ダイキ/イオン/イズミヤ/イトーヨーカ堂/オークワ/関西スーパーマーケット/京都生活協同組合/ジャパネットたかた/生活協同組合コープかがわ/生活協同組合コープこうべ/ダイエー/ハートフレンズ/ファミリーマート/平和堂/マックスバリュ西日本/丸井/マルナカ/ユーストア/ライフコーポレーション/ローソン/AOKIホールディングス/青山商事/エービーシー・マート/ジーンズメイト/セビオ/タカキョー/西松屋チェーン/はるやま商事/バル/やまと/ユナイテッドアローズ/ユニクロ/オリジン東秀/京阪ザ・ストア/あさひ/大阪ダイハツ販売/大阪トヨタ自動車/大阪トヨペット/大阪日産自動車/カワサキモーターズジャパン/関西モータ/近畿三菱自動車販売/神戸トヨペット/日産フリス大阪販売/ネットトヨタ大阪/ネットトヨタ神戸/ネットトヨタ兵庫/ネットトヨタびわこ/ホンダネットナラ/関西ケーズデンキ/コジマ/上新電機/テンポバスターズ/ナフコ/ニトリ/ミドリ電化グループ/キリン堂/クワールのアオキ/スキ薬局/ニッショードラッグ/ライフオート/愛媛/ジャルセールス西日本/ダイレクトショップ/ビジョンメカネ/HOYAヘルスケア/三城/メガネトップ
- 金融・保険業
 - 池田銀行/伊予銀行/愛媛銀行/紀陽銀行/近畿大阪銀行/滋賀銀行/泉州銀行/大正銀行/但馬銀行/中国銀行/徳島銀行/鳥取銀行/トマト銀行/南都銀行/百十四銀行/広島銀行/びわこ銀行/北陸銀行/北海道銀行/三井住友銀行/みなと銀行/りそな銀行/尼崎信用金庫/淡路信用金庫/和信信用金庫/愛媛信用金庫/大阪協栄信用組合/大阪厚生信用金庫/大阪市信用金庫/大阪商工信用金庫/大阪信用金庫/大阪東信用金庫/大阪府医師信用組合/川之江信用金庫/観音寺信用金庫/京都信用金庫/京都中央信用金庫/近畿産業信用組合/近畿労働金庫/倉吉
- 信用金庫/島根中央信用金庫/十三信用金庫/摂津水都信用金庫/但馬信用金庫/但馬信用金庫/大同信用組合/敦賀信用金庫/鳥取信用金庫/富山県信用組合/中兵庫信用金庫/奈良信用金庫/西兵庫信用金庫/日新信用金庫/播磨信用金庫/姫路信用金庫/兵庫県警察信用組合/兵庫信用金庫/水島信用金庫/ミレ信用組合/オーエムシーカード/オリエンコーポレーション/三洋電機クレジット/JKホールディングス/ジャックス/住信/松下フィナンシャルサービス/トヨタファイナンス/日立キャピタル/監理証券/いちよし証券/岩井証券/エース証券/SMBCフレンド証券/岡三証券/香川証券/コスモ証券/新光証券/高木証券/内藤証券/日興コーディアル証券/野村証券/廣田証券/丸三証券/三菱UFJ証券/大阪府中小企業信用保証協会/兵庫県信用保証協会/あいおい損害保険/住友生命保険/全国共済農業協同組合連合会/全国共済農業協同組合連合会大阪府本部/全労済本部/日本生命保険

MESSAGE



学長 重森 暁

「多彩な職業人を育成する」というミッションステートメントを定め、ブランドディング戦略の基本コンセプトとして「つながる力No.1」を決めました。私は、ここに示された本学の「社会的使命」を果たし、本学のブランド力を高めるために、力を尽くしていきたいと考えています。

本学は、5年後の2012年に創立80周年を迎えます。その80周年を期にさらなる飛躍を遂げるための準備期として、この3年間は

たいへん重要な時期だと思います。現在の「第二次中期計画」の推進を図りつつ、次の中長期計画への展望を開かなければなりません。

なによりも重要なことは、人間的実学教育を充実させることです。そのための当面の課題は、本学の教育体系における全学共通教育の理念と位置を確立し、「基礎演習」をはじめとする初年度教育の充実を図ることです。

また、教育の質を高めるためにも、研究の水準を上げることが求められます。これこそ大阪経大の特色ある研究だと誇れるものを創り出し、黒正巖博士のいわゆる「研学修道」の精神を、現代に再生させたいと思います。

本学は、これまでの諸改革を通して、四学部七学科体制となり、全ての学部の上に大学院を設置して、社

つながる力 NO.1をめざして

た。しかし、学生が互いに「つながる力」を発揮するためには、まだまだ建物・施設が不足しています。建物・施設の建て替えと、学生生活を豊かにするための施設の拡充を、計画的に進めなければなりません。

地域活性化支援センター、経営・ビジネス法情報センター、心理臨床センターなど、

会・人文系の総合大学としての陣容を整えつつあります。経済・経営系の伝統をいかした個性ある大学づくりをめざして、当面は学部・学科の再編を軸に検討を進めていきたいと思っています。

学園整備を計画的に進めることも大きな課題です。本学は、この間の学園整備によって、建物を一新し、美しいキャンパスとなりまし

ために、学生が互いに「つながる力」を発揮するためには、まだまだ建物・施設が不足しています。建物・施設の建て替えと、学生生活を豊かにするための施設の拡充を、計画的に進めなければなりません。

地域活性化支援センター、経営・ビジネス法情報センター、心理臨床センターなど、

ど、地域にかかわる組織がつくられ、大阪市東淀川区と協力協定が結ばれるなど、企業社会・地域社会・国際社会とのつながりも広がっています。これまでも続けられてきた「17歳からのメッセージ」やABC市民マラソンなどの取り組みを継続するとともに、社会貢献の活動をさらに広げていきたいと思っています。

これからも、自由と融和と協働の精神で大学運営を進めたいと考えています。

※は女子を含む就職先

支部だより

全国の支部からの活動報告と支部総会のお知らせ



北海道移住指南

北海道支部

「北海道の夏は涼しい」そんな話も今は昔となつてしまいました。3年前、釧路ではエアコンが6台も売れた！とニュースになりましたが、今夏はさらに売れたに違いありません。同窓会最北の支部でありながら、夏の快適さを自慢できなくなったのが悔しいばかりです。それでも定年退職を迎えた団塊の世代の方々が、北海道へ移住してくるケースが増えており、とりわけ来年サミットが開催される洞爺湖近くの伊達市では、温暖な気候や高齢者などのサービスに優れ、人口が増え続ける稀有な町として紹介されています。「第二の人生を北海道で」とお

平成19年支部総会は例年10月中旬開催が、9月12日(水)は安倍総理突然の辞任が流れる日の開催でした。当日来賓として学長、小谷教授、同窓会長、同副会長の出席を頂き、大学の近況を重森学長より、大学の進むべき方向としてつながる力NO.1を目指す方針や硬式野球部の関西六大学春季リーグ31季ぶりV、全日本選手権大会出場という明るい話題が披露後、例年通り今年卒業の平、白石両君の乾杯の発声でスタート。和やかな懇親会となった。私は同窓会に平成元年頃より参加、当時は観光バスでの都内めぐりを記憶しております。その後大学訪問、ゴルフ会へ行く会に出席している中、近年の支部総会への参加は約50名弱で推移、是非多くの同窓各位の参加をお待ちしています。

藤丸省三(32回)



今年の支部総会一か月早く開く

東京支部

考えの同窓諸氏、その折は北海道支部に是非ともご連絡下さい。楽しい情報が満載ですぞ。

副支部長 長崎史明(43回)



世界の絶景を望みながら盛大に開催

富山支部

富山県支部総会は、7月7日(土)富山県氷見市阿尾之浦温泉「永芳閣」にて開催いたしました。本年度は2年ぶりに会員の皆様から要望のあった宿泊を伴う支部総会で、18名の皆様に参加されました。同窓会からは中平秀寛同窓会長、大学からは高橋努理事にご多用中にもかかわらずご臨席いただきました。阿尾之浦温泉は3000m級の立山連峰と富山湾を一望できる世界的にも珍しい景勝地です。支部総会の案内を往復はがきにしましたところ、毎年返信が多くなっています。当日ご都合で欠席される会員の皆様も、近況や住所変更など書いていただけたことが多くなりました。



平成19年度福井支部総会

福井支部

平成19年6月30日大学から柏木教授・平等准教授、藤原進路支援センター部長、草福総務課長、水野進路支援センター課長、同窓会から津秋副会長を迎え41回目の支部総会を福井市内のフレール福井で開催しました。会は夫人同伴が定着し7名の夫人同伴会員を含む38人が参

支部長 重松尚(23回)

事務処理をしている者にとっては短いコメントでもいただければ、それを励みに会員の皆様と繋がっている実感を感じています。

2007年度 パソコン教室 今年で7年目



今年で7年目を迎えた、同窓会・後援会主催の「2007年度パソコン教室」が9/30(日)、10/7(日)、10/8(祝)の3日間、創立50周年記念館(E館)で行なわれた。

コースは、新設のAccessコースを加え、初心者コース、Wordコース、Excelコース、デジカメ・はがきコースの5コース。ソフトは今回から一新されたMicrosoftOffice2007を使用。コースの選定・テキストの制作および講師など運営すべては学生27名で組織(パソコン教室実行委員会)。経営学部経営学科4回生の杉本祐紀委員長は「来られた方がパソコンを身近に感じてもらえる“きっかけ”づくりが目標、そのコンセプトのもとテキストも5月から7月にかけて手作りで制作しました。27名みんなの力を束ねチームワークをとるのに苦労もしましたが、私も講師を3

年して今年委員長をやらさせていただき本当に大きな経験をさせていただいたと思っています。みなさん、私たちも一生懸命指導に努めますので一日楽しんでください」と明るく抱負を語った。

今回も昨年を上回る3日間延べ608名の応募があり大きな反響がありました。

参加される方も、親子連れ・ご夫婦・女性同士などさまざま。9時30分開会式の後、5コースに分かれ若い学生講師の親切な指導のもと、熱心にパソコンと取り組み楽しい充実した一日を過ごした。この「パソコン教室」がきっかけで初めて大学を訪れた方も多いと思います。親切な学生講師や学内の雰囲気に触れ、一人でも多くの方に好印象を持っていたら学生にとっても大きな励みになることでしょう。





全国の支部からの活動報告と支部総会のお知らせ

- 四 淀川ウォークコース
麻雀大会
平成20年3月1日(土)
麻雀店ボク
- 五 春のハイキング
平成20年4月13日(日)
大阪北港ヨットハーバー
カラオケ大会
平成20年5月18日(日)
カラオケスナック 妙
- 六 第12回豊中・丹有支部親睦ゴルフコンペ
平成20年6月11日(水)
ヤシロカントリー
- 七 ボーリング大会
平成20年7月5日(土)
ボウル曾根
- 八 読書会
平成20年9月14日(日)
簡保の宿『有馬』
参加希望者は豊中支部事務局
上田敬二郎
(06)6831-3984まで
支部長 青木昭生(34回)



再なる飛躍をめざして
堺支部

第4回総会は平成18年11月18日(土)午後6時より堺リーガロイヤルホテルに於いて開催致しました。学校からは人間科学部片山麻美子教授の出席を頂き、「日本の庭、イギリスの庭」というテーマでご講演して頂き、出席者全員感激し拝聴しました。

同窓会からは中村同窓会副会長、神田博、斎貞文、両常務理事、大阪市支部長・三好政彦氏の出席を頂きました。堀本支部長より、私共母校より設立が後の学校が私共母校を追い越して社会的に認知度が高いのを学校が考えるべきである。また同窓会にいたってはリーダー的存在の者がおらず、柱がないのが現在の現状であり、意見を言っても返答がなくそのままであるのも現実で、全人時代に

入って各大学共、学校と同窓会とが一緒にあって学校運営を考えている時に、本校の本部の同窓会も考えるべき等の意見交換があった。

中村副会長からは現在の学校の現状の説明があり、その後支部長より1年間の活動報告があり、来期の活動計画として懇話会ゴルフ会、旅行会、等各担当より計画予定を発表し無事終了。

第二部懇親会に移り、各テーブルより来期の支部活動には是非参加する旨の話が出て、来年は更に堺支部が飛躍する事と思います。

平成19年度堺支部活動報告
19年

- 2月3日(土)
堺支部幹事、役員会
場所：しゃぶ扇 堺東
- 2月13日(火)～18日(日)
堺支部有志による、タイ観光ゴルフ旅行
6日間大いに懇親を深めた
- 4月20日(金)
堺支部ゴルフ大会
場所：奈良県秋津原ゴルフクラブ
- 5月26日(土)～27日(日)
堺支部旅行会(伊良湖岬方面)
担当：馬場(26回)、中坪(41回)
- 6月3日(日)
泉南支部総会出席
出席者：馬場啓光(26回)副支部長
- 6月23日(土)
同窓会(本部)理事会
場所：本学創立50周年記念館
出席者：見学捷太郎(28回)副支部長

- 7月7日(土)
堺支部懇話会
場所：堺 じばしん
卓話者：中坪健治(41回)事務局長
担当：見学捷太郎(28回)副支部長
- 9月6日(木)
同窓会(本部)全国支部長会
場所：新阪急ホテル
出席者：堀本修(24回)支部長
- 9月15日(土)
堺支部副支部長会議
場所：堺リーガロイヤルホテル
場所：しゃぶ扇 堺東
- 10月12日(金)
堺支部幹事、役員会
- 10月19日(金)～21日(日)
北海道支部総会出席
出席者：堀本修(24回)支部長
- 10月19日(金)
堺支部ゴルフ大会(尾上三郎(22回)エージンストお祝い兼ねて)
場所：大阪ゴルフクラブ
- 11月3日(文化の日)
同窓会(本部)総会
場所：本学創立50周年記念館
出席者：堀本修(24回)支部長
- 11月17日(土)
第5回堺支部総会
場所：堺リーガロイヤルホテル
講演者：中尾美喜夫人間科学部教授
支部長 堀本修(24回)

**平成18年度愛知支部総会
元気の中心名古屋駅前で開催**
愛知支部

平成18年度の愛知支部総会は会場を、例年開く名古屋の中心「栄」から名古屋駅前に移しホテルキャッスル



プラザで10月21日(土)夜、開催しました。

母校からは斎藤栄司教授(経済学部)同窓会本部から片山常務理事を迎え、更に体育会連絡協議会の鮫島圭会長は快くご参加戴き、岐阜からは長崎支部長 久しぶりに遠路京都・亀岡市から阿部淑子前愛知支部長がお目見え大歓迎となりました。会は鴨下順二幹事(38回)の司会で進行。学歌斉唱の後、斎藤学部長、片山常務理事から来賓から学部長、片山学部長からもスピーチ報告があり、鮫島会長からもスピーチ報告の重要性、活動の状況等順次拝聴。

記念撮影のあと、懇親会にはいり五十樓保彦(41回)副支部長の司会で参加者各自からそれぞれ近況等を報告。熱演あり、アピールありで盛り上がる。最後に赤塚幹事の健康を称える閉会挨拶で終了しました。

今回は翠忠明(10回)の大先輩を筆頭に最年少は高校教師の大上雄二(63回)氏まで幅広く老壮若30人が

参集。又ご出席戴いた斎藤教授が、合宿ゼミを去る9月に名古屋で開催中国工場の留学生を含むゼミ生等とトヨタ工場や産業技術記念館見学、コンバも行ない成功と伺えたこと、また往年、陸上短距離界で大活躍された翠忠明先輩のスポーツ談義など鮫島会長らともどもに感銘、感嘆。会場の駅前には元気な名古屋を象徴するように高層ビル群が出現、飛躍が期待されています。次回も駅前で開催し盛会を期待しています。

次に総会案内の返信ハガキに記せられた近況メモの一部をご紹介します。

- 今年の6月株主総会でようやく44年の勤めを終えました。用件が入りましたので欠席しますが次回は是非出席させて頂きます。(28回)
- 私は単身赴任で名古屋の前は北海道です。今回東京で仕事があり来年は必ず出席致します。(40回)
- 飛行機(中部国際空港)飛び交う知多半島で若さや失なわれないよう頑張っております。皆様に宜しくお伝え下さい。(38回)
- 地元大阪から離れていても経大のことは常に気になります。ハンドボール選手権が11月に名古屋で行われるようです。スポーツで好成績を挙げOBを喜ばせて欲しい。(44回)
- 老齢のため夜間の外出を控えています。皆様の御健康と御多幸、母校の発展を望んでいます。(10回)
- 小牧市と吹田市でリサイクルユニフォームを運営しています。業務用品、オフィス用品が中心です。よろしく。(45回)
- 名古屋に戻って3年、当日は会社の旅行と重なるため止む無く欠席します。皆様に宜しくお伝え下さい。(35回)

支部長 明田安生(25回)

頑張れるか熟年会員
福井支部 大淀会

当支部には若手の大淀会というものが、年数回集まっている。しかし、残念ながら毎回10数人が集まり、その場は盛り上がりつつはいるものの、当会自身が高齢者の集まりになつていくようだ。そこで「声をかけあつて集まる我々はなぜだろう」と問いかけると、「以前にはキャンプなどの家族ぐるみの楽しい付き合いがあった」などそんな声が返ってくる。そこで提案、我々が若い会員に、そんな情報の発信と事業を実行しては...

副支部長 玉木誠(34回)

平成18年度大阪府支部総会
大阪府支部総会
平成18年12月22日

大阪府支部総会
平成18年12月22日

大阪府支部総会
平成18年12月22日

豊中支部行事予定
豊中支部

- 一 第23回通常総会、懇親会
平成19年10月13日(土)
ホテル・アイボリー
- 二 第11回豊中・丹有支部親睦ゴルフコンペ
平成19年10月10日(水)
三田カントリー 27
- 三 秋のハイキング
平成19年11月18日(日)

大阪府支部総会
平成18年12月22日

大阪府支部総会
平成18年12月22日

大阪府支部総会
平成18年12月22日

今年のタイガースはクライマックスシリーズに出たものの、残念な結果に終わりました。来年に期待しましょう。

さて平成18年度の総会は、2月21日にブレイマンで有名な経営情報学部西山教授に出席していただき、ワイワイ大阪で行いました。みんなで紙製ブーメランをつくり、童心に帰って楽しみました。

懇親会の席上、福地前支部長の退職にともない、新支部長に43回卒の南正治氏を全員の賛同で選出しました。「諸先輩方が築いてこられた伝統を守り、発展させていきます。皆さんの協力をお願いします。」との決意表明があり、無事終了しました。福地前支部長、長い間ありがとうございました。また同窓会の皆様、福地前支部長同様南支部長をよろしくお願ひします。なお、19年度の支部総会は、2月頃を予定しています。詳細が決まり次第、連絡します。

幹事長 鈴木哲夫(57回)

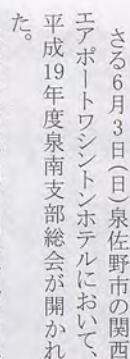
大阪府支部総会
平成18年12月22日

大阪府支部総会
平成18年12月22日

大阪府支部総会
平成18年12月22日

平成18年度大阪府支部総会
大阪府支部総会
平成18年12月22日

泉南支部



渡守幹事(38回)の司会で始まり、車野支部長の久しぶりの再会を歓迎する挨拶に続いて、同窓会を代表して森川副会長(25回)が、大学側から渡辺経営学部長が、それぞれの現状とこれからの取り組みを話された。

また、硬式野球部が31季ぶりに関西六大学野球春季リーグで優勝し、神宮の全国大会に出場することになったことを受けて、滝前硬式野球部の

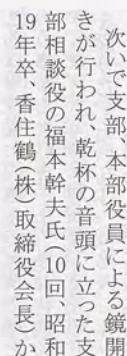
尼崎支部

尼崎支部は平成19年度支部総会を4月26日(木)に尼崎市の「ホテルニユーアルカイク」に於いて開催しました。来賓として重森曉学長、中平秀

但馬支部

平成19年2月18日(日)午前11時30分から、地元豊岡市の「ホテル幸祥」において、支部会員40名、来賓9名の参加のもと、「但馬支部」の設立総会が行われ、支部会則、役員を全員一致で承認、初代支部長に高木勲氏(35回卒、高木産業有限会社代表取締役)を選出し、念願の45番目の支部誕生となりました。

続いて第2部懇親会に入り、高本支部長から「大いに親睦を図り、和やかな支部活動をしたい」と所信を述べられ、来賓として参加の中平同窓会会長から支部誕生に対して感謝と学校の近況、津秋同窓会副会長から支部誕生までの経緯、高塚本学事務局長から重森学長のメッセージがそれぞれ述べられた。



但馬支部

ら、大学の苦難の道、黒正先生の思い
出、建学の精神である自由、融和、協
働にプラスして「母校愛」を強調され
同支部の誕生を一番待望しておられ
た長老の言葉に、但馬支部誕生に掛
ける思いを見るのができました。

乾杯後は各テーブルで歓談の輪が
広まり、2時間半の時間も短く感じ
られるほど盛り上がりを見せ、最後
に顧問の志水氏（23回卒、関西大
学野球連盟副理事長）の挨拶で閉会
しました。

今回当初予想の倍の参加者があつ
たこと、とりわけ平成年度の卒業生
が10名もあつたことはいずれい船出
といえましよう。これも設立準備委
員の皆様の並々ならぬご努力の賜物
と感謝申し上げる次第です。

同窓会事務局長 竹中亨(32回)

組と早朝から楽しく親睦も合格！
産声上げたばかりのローカルな支部

会計 福富宏三(41回)

明石支部

平成19年9月8日、東正朗教学本部長、中平秀覧同窓会会長、水納敏也同窓会副会長、中村敏啓同窓会副会長をお迎えして、支部総会を西明石キヤッスルプラザで35人が参加して開催しました。

佐藤武司支部長の挨拶から始まり、終わりの学歌、逍遙歌まで、途中、歓談やら楽しいゲーム、全員による自己紹介を兼ねた挨拶など、和やかに過ごすことができました。

阪神支部

本年は支部総会を開催致しません
が、来年は西宮支部改め阪神支部発
足30年になります。毎回同窓会の出
席人数が年々減少傾向にあり、この
節目を境に総会を盛り上げるべく関
係幹事と計画を練っているところで
あります。阪神支部は西宮、宝塚、芦
屋の3市在住の同窓生から組織さ
れておりますが、主に西宮市役所の
職員が総会の運営に当たっているのが
現状で、他の2市にも協力応援を願
うことが会の発展に大きく寄与する
のではないかと考えております。

近年若い世代の人はクラブ活動よりも自身の自由が利く拘束されない会には参加するが、半ば強制的なものには参加しない風潮があり、OBOB同士の交流も大切と感じてもらおうと、瀬江と呼びかけます。

神戸支部

平成19年度神戸支部総会は、平成19年10月20日(土)12時より、神戸・元町駅北側の「パレス神戸」に於いて開催いたしました。総会には、大学から北村 實副学長、同窓会から中平秀覧同窓会会長、片山剛征常務理事にご出席いただき、来賓の皆様が





貸し切って、飲みや唄えやのカラオケ大会になり、28人もが参加し、25人が自慢の喉を披露しあい、大いに盛り上がりました。
今後多数の参加を期待しておりますので、よろしく願います。
吉本明浩(41回)



姫路支部総会

姫路支部

ました。しかし毎回出席者の増強に苦心している割に余り増えません。出席者不足は我が支部だけの問題ではなく、各支部共に出席者数の減少と若い同窓生の参加が少ない事に頭を痛めていると聞きます。原因は我々の努力不足なのか、同窓会に魅力が無いのか苦慮するところです。支部によつては色々工夫をされていると聞きますが、さて結果は結局は役員の方々が地道に出席勧誘をするしかないのか頭の痛いところです。つまりこれは母校愛と同窓生の友情欠かという事かもしれません。是非皆様のアイデアや企画を御提案頂き活性化を図りたいと思います。宜しく。
支部長 佐藤武司(30回)

明石支部の同窓生の皆様へお願い

明石支部

去る9月8日明石支部の総会を開催致しましたところ35名の参加者が有り一応盛会の内に終える事が出来

ことや、お互いの健康、活躍を誓い記念品を貰って散会しました。ちなみに今回の総会記念品はクッキーでした。
副支部長 永井孝治(37回)



平成19年度支部総会開催

淡路島支部

第17回総会は9月29日(土)、鳴門海峡を眼下に望む「うめ丸」で開催。大学から経済学部で理事の梅原教授、同窓会本部からは小谷、中村副会長をお迎えし、会員22名の出席となりました。



総会冒頭、ご来賓より同窓会本部の現況や課題の報告、重森学長就任の紹介と少子化が進むなか、19年度受験生が対前年比で増に転じたので、次年度も現状維持を図りたいと決意表明も...
竹内支部長よりお礼の挨拶。出席会員から定期総会で時代即応の研修会をとの提案に対し、次年度からの開催を約束しました。
懇親会では悲願であった女性初出席会員から自己紹介。拍手喝采のち和やかに歓談。宴たけなわのうちに学歌、道遥歌と万歳三唱、母校発展に向けた協力と活躍を誓い合い散会となりました。
役員一同、次回は積極的な参加を心よりお待ちしております。
事務局 喜田憲康(40回)

奈良支部総会開催

奈良支部

奈良県支部は、西本集一支部長(23回・王寺町議会議員)のもとに県下5ブロック(奈良市・奈良北和・奈良中和・奈良南和・葛城)と職域ブロック(奈良市役所・奈良交通・南都銀行)の8ブロックより構成されており、会員数は、1200名です。
毎年秋に奈良県支部総会を開催し、母校の現況についての説明と会員相互の親睦を図っております。
昨年(平成18年度総会)は、12月3日橿原市・橿原観光ホテルにおいて36名の出席で盛会に行われました。カナダ在住・松本寛様が、急遽ご出席くださり商社員時代の貴重な体験談をお聞きました。大経大OBのグローバルな活躍を改めて認識い



たしました。

懇親会終了後、飛鳥方面・奈良県立万葉文化館見学を行い有意義な一日を過ごすことができました。

また、平成19年度総会は奈良市・ホテル日航奈良において11月17日の40名出席のもと開催いたしました。ならどつとFM人気アナウンサー・中川直子氏の講演会を行い、会員間の懇親を深めることができました。

来年度よりゴルフ懇親会(大楠会)の再開が決定し、年に1〜2回懇親ゴルフを行う予定です。

総会への皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後とも奈良県支部を何卒よろしくお願い申し上げます。
事務局 八田耕治(45回)

久々の支部総会

鳥取支部

平成19年6月16日、三朝町において鳥取県支部総会を開催しました。久々の総会開催に当り、昨年から役員選任の根回しや開催のための諸準備等有志による会合を数回重ね、やつと開催にこぎつける事が出来ました。当日は、ゴルフコンペの後、大経大OBの方が経営する三朝花屋別館で総会及び懇親会を一泊二日で行ないました。大学及び同窓会本部からも遠路ご出席頂き、大学や同窓会の現状等についてのお話を聞きながら、想い出多き大学時代を懐かしく思い起こした次第です。

青春時代、同じ大経大で学んだという縁を大切にしながら、その輪を拡

げていくため、今後定例的に開催したいと考えています。
支部長 秋口政俊(39回)



実り多き総会へ

岡山支部

年に一度の同窓会ですが、ここ数年参加者が少なく、苦慮しております。しかし、何年前より大学後援会主催の教育懇談会が、7月の第2日曜日に開催される関係で、その前日の第2土曜日に同窓会を開催しております。今年も教育懇談会も第2土曜日にされ、同窓生もさることながら大学の教授、職員の方々も多数出席して頂き、実り多い会合になったと思っております。岡山は全国的にみても同



窓生の多い県だと言われ、その割に参加者が少ないと指摘されております。ここ数年の傾向として、常連の方々の出席は定着していますが、新しい卒業生の方々は学校に対する思いがかわつてきているように思われます。昔の様に母校愛とか学校に対する感謝の念が忘れられているように思われます。
自分の出た学校に誇りを持って、これからの社会生活に頑張つて欲しいと思います。
毎年7月の第2土曜日の夕方に同窓会を開催しておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。
支部長 小野隆(35回)



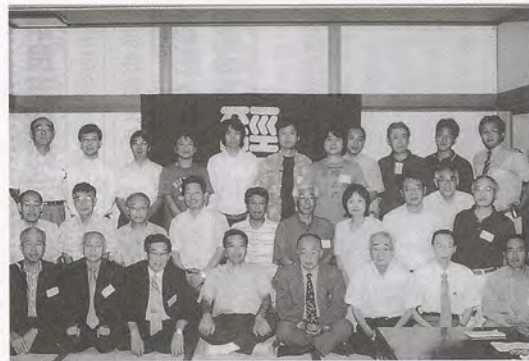
全国の支部からの活動報告と支部総会のお知らせ

津山支部総会の開催報告

津山支部

8月25日、藤本経営情報学部長様、本部より水納・森川両副会長様、岡山支部小野支部長様、寺尾副支部長様を始め、今年も多く参加を得て総会を盛大に開催。68期田中宏和さんが初参加。ゴルフコンペを開催、懇親会では35期粉川さんのハワイアンバンド演奏が花を添えてくれました。総会前、水納・森川両副会長様と大家副支部長と私の懇談では、同窓生の活躍をもっと幅広く情報収集し、広報することが大学の知名度アップにつながるということで意見が一致しました。

来年も多くの参加を期待します。
支部長 竹本巧(37回)



第65回支部総会開催

広島支部

10月13日(土)、東広島市(西条)にて第65回広島支部総会を開催しました。

藤本経営情報学部長、中村同窓会副会長、神田同窓会常務理事が来賓として出席され、学校の現状と今後の取り組みを伺いました。今回は、賀茂泉酒造株式会社社前垣専務(36回)の尽力により、河合大先輩(13回)をはじめ参加者(28名)は楽しいひと時を過ごしました。また、当日は「西条酒まつり」も行われており、酒蔵めぐりなど西条の町を満喫することができました。

昨年からはじめた広島支部ゴルフコンペは、回を重ねるごとに参加者が増え、同窓会の輪が徐々に広がっています。

事務局 飯田徹(57回)

二年ぶりに山口支部総会開催

山口支部

山口支部総会は8月に企画しておりましたが、台風接近で急遽変更したため、若干参加者が減りましたが、大学から藤本寿長経営情報学部長を始め、同窓会からは小谷芳男、津秋靖博両副会長、熊本支部からは演忍支部長、伊藤哲也氏も遠路ご出席いただき華を添えていただきました。出席率の低さは各同窓会支部共通の悩みです。山口支部では地域別に幹事を設けて各幹事の責任で会員を集める方式をとっていますが、その効果が見られるには少し時間が必要なのかも知れません。大学の知名度を

平成19年度支部活動報告

徳島支部



① 昨年の休眠から覚めようとした計画も再度空振りとなりました。再度深く反省をしてみたいと思っております。

② 新しい年の1月19日、徳島支部のホープ後藤君が営むバイキング形式の日本料理店で新年会を開催しました。総勢15名と、今年岡山で地域情報ネットを運営している仲間橋本さんも参加し、お互い久しぶりに美味しい料理とお酒、そして一番のご馳走、仲間同士のたわいなし話に酔いながら時間を過ごしました。橋本さんの話は当支部ではまだ花開いてません。私事でありますが、私の趣味の会で試用させていた

支部総会盛大に開催

香川支部



③ だきグループ内の情報交換・情報提供と便利になり喜んでおります。② 5月27日に支部恒例の春の親睦ゴルフ大会を開催、16名の皆さんが集まり、春すがすがしい緑を満喫しました。③ 今年4月に行われました徳島県猪飼議員選挙に徳島支部の樫本支部長が立候補し、同窓の仲間の沢山の協力をいただき、県内最高得票で当選。前回の雪辱を果たすことができました。

事務局 山口勝敏(32回)

高めて誇りを持てる大学づくりも出席率向上の一つの手段かも知れません。最後に同窓会の希望の星でした元宇部市議会議員長の岩村実氏(30回)の葬儀が五百人以上の市民が参列して翌日営まれた。合掌

支部長 小林真人(32回)



初めて同窓会に参加して

愛媛支部

社会人になって初めて、同窓会に参加させていただきました。30人ほどの参加者の中で私が一番年下で、女性も2人と少なかつたですが、大学のバ

去る7月8日(日)午後6時から岡野支部長が総支配人を務めるホテルボール讃岐で平成19年度支部総会が開催された。当日は、大学後援会主催の四国地区教育懇談会が高松で開催されたので、大学から経営情報学部長の藤本教授他4名の方々、また、同窓会本部から関連推進部長の佐藤武司氏が出席され、支部会員16名と大学の現況や入試状況、就職状況等について熱心に意見交換をするなど、2時間余りにわたって懇談した。

また、役員改選で、新たに副支部長に36回卒の鈴木澄夫氏が、会計に46回卒の大奥雅彦氏が就任され、支部運営に尽力されることになりましたので、会員各位のさらなる御協力をお願い致します。

支部長 岡野敦(31回)

よさこい祭に支部総会

高知支部

今年の支部総会は大学本部からご出席下さる方々によさこい祭を楽しんでもらえたらの思いで、祭り最中に開催しようと思われ、葉書まで出して準備をしたのですが、世話役の思いつきは裏目となり出席者は前年を下回っていました。

会中は平岡同窓会長より同窓会の現況等のご報告があり、高橋経営本部長からは学校運営状況の説明があり、引き続き懇親会が開宴されました。尚、来年の支部総会は10月に行う予定です。

支部長 野崎邦男(32回)

北九州支部同窓会にて

北九州支部



ンフレットを見て学校への要望を議論したり、偏差値について説明を受けた。先生に会えたりと、社会人になり毎日余裕もなく過ぎ、忘れかけていた大学時代の事を思い出せた気がします。ありがとうございます。

懇親会等も行われ、幅広い年代の方と交流、情報交換を行い人脈を広げることが出来ました。このような大学を通じての交流をいつまでも持ち続けたいです。

一人で参加するのは勇気がいりますが、若い方、女性にも積極的に参加して欲しいです。

来年も、宜しくお願い致します。

飯尾友紀子(73回)



大阪経済大学北九州支部同窓会を2月17日に開催いたしました。同窓会から中平会長、大学から人間科学部



山田学部長に御出席いただきまして、同窓会の活動状況、さらに大学の近況報告をしていただきました。北九州支部は大学の所在地から離れているので、タイムリーに情報が入ってこない為、出席した同窓生の方々にとっては新鮮に感じられたことと思います。少子化に伴い大学を取りまく環境も厳しくなつていくと思われまします。同窓会の最後に、同窓生の率いますバンド演奏に合わせて学歌、道遥歌を声高らかに歌い、同窓生一同大学の益々の繁栄を願い無事終了いたしました。最後に北九州支部の皆様、次回同窓会には是非御出席よろしくお願い申し上げます。

支部長 植田達三(52回)

活動状況

大分支部

こんにちは、お元気ですか。大分支部です。暑い夏も終り、やっと朝夕涼しくなってきました。このところ夏の疲れがでて、体調をくずしてしまい、みんなに迷惑をかけてしまいました。が、やっと少しよくなり、活動をはじめたところです。私達は、仕事が多忙な人が多いので、ほとんど電話での会話が少なく、なかなか一緒に会う機会が少なくなつてしまいました。機会をみてもう一度会えるように一歩一歩話を進めております。よろしくお願い致します。

支部長 寒田陽(40回)

平成19年度支部総会報告

熊本支部

平成19年度熊本支部総会を10月20日(土)、熊本市において経営学部

長渡辺教授並びに同窓会常務理事の田村氏と藤原氏をお迎えして行いました。出席者は熊本支部14名、北九州支部2名、合計19名でした。当支部は少人数のため、例年のとおり総会における雰囲気は終始和やかで活気のある支部総会でした。出席率はおおよそ30%ですが、小所帯であることを考慮すると決して高い出席率とは言えず、また、顔ぶれも年々固定化の傾向が強まっています。出席者の底辺拡大が当支部の課題であり、今後、さらに幅広く参加の呼びかけに努める所存です。当大学進学者の出身地は近畿圏へ集中しており、特に遠隔地である九州からの進学者が低下しており、このまま推移すると今後の熊本支部活動への影響が懸念されます。そこで、大学側の要望ですが、九州地区に対する進学案内、広報活動等、さらに活発に行っていたら幸いだと感じています。

事務局 坂本純夫(39回)



支部設立5周年目を迎えた宮崎支部の現状

宮崎支部

宮崎支部では定期的に役員会を開くなど常時母校愛を忘れず頑張っています。ただ、この1、2年役員の中の数人が体調不良となり今後のことが懸念されます。

一方、支部にとって喜ばしいことは、07年度の入試で宮崎県から35名もの母校志願者が出ており今後更なる増加を期待しています。

宮崎支部総会は、毎年11月末の土曜日に設定しております。例年15



どうなる大阪と南九州

南九州支部

その昔、西日本の経済の中心は、いや日本の経済の要は大坂でした。特に私達の南九州は、大阪を基に形成されました。大学がその名のとおり経済学の実践地たる大阪にあるのも、日本経済の礎に求めるものと考えられますが、戦後特に万博以後の、在阪企業の本社機能の東京移転にあるように、大阪力学の失墜がみうけられます。大阪といえども一地方の都市と揶揄されながら、今私達の大学は自助努力により大きな発展を遂げています。こころ一番同窓生の皆さん、大学に新しい血を吹き込む為にも受験生を送りましょう。大学も大きな戦略のもとに、支部が自信をもつて送り込む師弟達に、新しい目で歓迎する方法を考えられんことを強く願望するものであります。

支部長 前園博隆(34回)

母校への提言

野村節夫(3)

薩摩半島の最南端、むかし唐の瀧とわたれた史と景のまら坊津に生を受け、当年とつて94歳になりました。人生あつという間とか、かぎられた人生、今を大切にして余生を送っております。

鹿児島中学校を卒業して、日本の商都大阪に参り、昭和商の第3期生として哲学博士黒正蔵先生たちより学びました。母校を卒業して大阪の材木問屋で働いておりましたが、会社の仕事で昭和14年2月11日お店の先輩と上海に渡り、米国より米松等を輸入して日本へ転送する仕事をしておりましたが、戦時中のことであり、あとがつかず投じました。

昭和17年5月高島屋飯田天津支店に入社して会計係を務めておりましたが、先の大戦で昭和19年2月原地召集により約3ヶ月の教育のあと患者収容隊に配属になり、第2次華南作戦に参加しました。終戦となり無事に帰国しました。人生にはかぎりがあり、命の大切さを痛感しました。We Love 母校の皆さま、人生はあつという間、2度とない人生であります。限られた人生を大切に母校への提言と受け取り下されば幸である。

自宅 鹿児島県南さつま市

私のモットーは

健康と平和

満野圭蔵(3)

創立75周年を迎えた大阪経済大学の私がなんとその3回生とは正に骨董品の様な存在で、若い頃には他人事の様に思っていた「光陰矢の如し」を、身を以て実感している今日この頃です。

かえりみれば戦時中、敗戦後幾多の苦勞の中、今まで生き抜いて来られたのは経済学博士黒正蔵校長先生を始め、在学中一方ならぬ指導を賜った諸先生方のお陰と感謝の気持ち一杯です。

同期会でいつも親切にして頂いた法学通論の中村先生、同窓会誌「激江」の文字を書かれ同窓会長だった渡辺君や同級生の親友諸兄の事など、同期会の寄合にはいつも同伴出席していた家内と2人で当時を懐かしんでおります。

それから現在私が田舎暮らしをしていて良かったなと思う事の一つに嘗て神戸の長田高校に在学中、部活で工作隊(今で言うD.I.Y)に居たので、人件費高騰の昨今、資源愛護等も考えて一挙兩得で実用的と(上)を見て下を見てもキリがない。見栄や外聞は二の次にして、同好の方々も集まって、この様な部活を楽し

North to South 北から南から

同窓生からのメッセージ

同窓生の皆さんにご投稿 いただいたテーマ

- 母校で得た私の財産
- 母校への提言
- その他

から計理士登録通知書の御通知を、昭和23年6月18日拝受。
自宅 滋賀県大津市

母校はわが青春
刀根(岡田)久子(15)

私達15回生が入学したのは昭和21年6月。終戦の翌年のこと。戦前は昭和高校、戦中は大阪女子経専、戦後は大阪経専とめまぐるしく変わる中、全国でも男女共学のはしりと言われておりました。入学したのは男子3クラス、女子1クラス200名位だったと思います。終戦後初めての入試で、年齢差も大きく、男性の中には軍服、ゲートル巻きの方もあり戸惑いました。入学して間もなく女生徒が少なく、ことから、友人に演劇研究部に入部を勧められ、遊び半分で同期の駒(平田)和子さん、坂本ハツエさんといつてみると、よい方、賢い方ばかりでした。先代の同窓会会長田中富三さん(18回)、先々代の陰下嘉典さん(16回)、経大逍遥歌の作詞者中村行男さん(16回)も居られ、それはニクなクラブで楽しく、殆ど部屋に入り浸りでよく卒業できたものだと感じています。

朝日会館で催された文化祭では山

本有三作「女鏡」に出演した厚かましい思い出もあります。本当によい部員の皆さんに恵まれ、まさに母校は我が青春です。今では「劇研青春の会」として2度の一泊旅行、年1〜2回の食事があり大いに謳歌しています。
自宅 大阪府大阪市

経済・経営分野で総合化と国際文化を
岡本良夫(17)

少子化の進行で私学経営は増々厳しさが増してゆく。減少する青年男女を取り込むためには抜本的総合的な中・長期経営戦略が必要だと思う。その方向性は経済・経営部門の「総合化と国際化」計画を策定すべきだ。例えば、学生を呼び込むためには広く海外、とくに中国・インド等から2割程度受け入れると同時に、卒業生を海外へ派遣できる国際的化システム構築を期待する。

校名は「大阪経済総合大学」とし日本唯一の世界に開かれた大学にする。必須科目としては英語と中国語を必須科目とし、卒業時には話せるようにする。
自宅 東京都清瀬市

在学中の一生の思い出
貝塚茂(18)

在学中当時、外部では全学連を中心とした学生運動の始動期、内部にありては授業料値上げ問題、経大初代学長問題とあり、その中で私事だが、実は日本育英会奨学金の思い出話です。

ある日校内マイクで「貝塚」の名前が連呼され、風間先生のところへ行くと、授業料未納の件で度々督促をうけ、金もなく、退学でもと思っていた時、つよく可愛がつくれた梅田先生に相談、すると6月に育英資金の選考があるから受けてみるの思いがけない話だった。早速依頼し、3ヵ月後奇蹟的に9月にパス、本学第一号の事、夢心地で一金老附八百円の証書を受領し、早速授業料も全額支払い、その後庶務課の杉先生の所へ受けとりに行くのが嬉しく、その後大学生として一金式肝百円也、期間中の合計9万円少々、12年で完済、梅田先生には深く感謝、在学中の一生忘れ得ぬ思い出だ。梅田先生本当に有難う。
自宅 大阪府大阪市

母校で得た私の財産
糸井完次(21)

大阪経大夜間部が併設された昭和26年、私はその一期生として入学致しました。

銀行(現みずほ銀行勤務の都合上、出席も意のままにならず、冷暖房設備は勿論なし、停電もしつちゅうという厳しい環境下での苦学は「忍耐と努力」という、後の人生に大きな影響をもたらした「根性」を培うことが出来た様に思えます。
自宅 大阪府豊中市

母校への提言
伊伏彰(23)

今日、周知のごとく大学環境が厳しい。従来の右肩上がりから、停滞、下降トレンドの局面下で本学の真価が問われている。いかにして、少子化、競争激化をクリアして本学の安定維持、成長を図るかにある。その基調は根強い伝統的大学観の束縛から、市場原理への発想の転換である。社会ニーズに即した高品質の教育サービスを安価でカスタマーに提供するシステムの構築こそ本学の緊急の課題である。たえず他大学とのベンチマーク

まれては如何でしょうか？
最後に私は権力欲しい、金欲しいと争いの絶え間のない今の世界を眺めて孫や曾孫の代は勿論、我々人類が原爆や劣化ウラン等々の洗礼を受ける事なく、この地球上にたとえ1000年でも長く健康で平和に生存出来る事を願って心配をしております。
自宅 大阪府川辺郡

昭和高校で得た財産

土手勲次(6)

入学から彼の他界まで親交を重ねた大森侃二君は、岡山一中で黒正校長の後輩で胸中を語られた唯一の学生です。彼の伝聞で高商は世間で役につく職人育成が教育理念と知り、大森とこの件で話し合い、職人芸を研く決心をした。これが母校から得た財産で、日産火災を定年退職するまで研磨を心掛けました。経大に創業時の理念が見えない73回卒業まで約8万名の卒業生は黒正先生に数は力なりと教りました。母校の力は強大です。創業の理念を確認して私学の雄に仕上げてほしい。
自宅 兵庫県明石市

私の財産

石橋正俊(7)

今回澱江20007(43号)に無作為抽出に指名され光栄に存じます。投稿の内容は①母校で得た私の財産について②母校への提言について③その他①について私は3ヶ年の学生生活で健全な精神と健康な身体を造る事が出来た事です。
即ち、大阪市北部郊外の農村地帯に校舎があり学生生活を送るのに最適な環境にあった事と、良き学友に恵まれた事によるものと思っています。
②について正しい判断力を身につける発言を要する時には進んで発表し、実行出来る学生を創る事を要望します。
自宅 福井県越前市

より有名校に

横川英男(8)

年若いあまりよくわかりませんが有名になれば入学する者も立派な生徒が来るでしょう。又就職等も有利になるでしょう。その為にこの頃の若者はスポーツに関心が深いと思われるので、野球とかサッカーやテニス等対校試合等の良かった時等の事を、報道関係等によく連絡する等如何でしょうか。
自宅 岡山県赤磐市

母校で得た私の財産

岩谷宣治(11)

私達の学生時代は目前に兵役を控え、それがかなりの確度で死に繋がっていた。日常さほど意識することはなかったが、何か締切が迫ってくる焦りから、出来るだけ、勉強しておこうという事で、随分本を読み漁った。これが後ほど大きなプラスとなった。
当時の重苦しい空気の中で、昭和高校のリベラルな学風は、今思い出しても懐しく、私の考え方に大きな影響を与えてくれた。
自宅 大阪府大阪市

黒正蔵学長の学徒出陣式の送る言葉

植田甫(11)

昭和19年学園の学徒出陣式に黒正学長は「君達は経済学徒である。死んで帰るな。生きて帰れ。戦後の復興は君達の双肩にある」と訓示された。当時としては思いきった発言であり、学長の戦争に対する信念であったと思います。戦争を知らない後輩に伝えておきたいと思います。
自宅 福岡県久留米市

わが人生の足跡

パート2

林俊男(11)

私は今から7年前のこの「北から南から」に掲載していたことのある昭和19年卒の者ですが、月日の経過は早いもので、いつの間にか82歳になりました。母校の発展ぶりを会報や新聞で拝見し喜ばしく思っております。定年後「香川の映画史」の編集や県主催の「さぬき映画祭」などに協力し、老後を楽しく暮らしておりますが、近年妻が他界したこともあって、少々体調を崩し自宅療養しながら頑張っております。最後になりましたが、母校の繁栄を祈つてやみません。
自宅 香川県高松市

母校で得た私の財産

黒瀬(木村)貴多子(14)

戦中戦後の激動期で、当時著名な教授陣に素晴らしい講義を受け、先輩同輩後輩に恵まれキラキラした人間関係が母校で得た私の財産です。文部省から中学校高等学校の教員免許状(英語と商業)昭和23年11月5日、新制になって京都府教育委員会から中学校、高等学校(英語と商業)昭和24年9月1日、又大蔵省

私は経大卒業後、鍼灸師の資格を得て、鍼灸師として充実した人生を歩めたことに感謝しています。

深淵な東洋医学の真髄は、大学時代ワンダーフォーゲル部で野山をひたすら歩くことで、おのずと感じ取られたやさしさに満ちた「自然の心」そのものだったのです。

数千年の歴史を秘めたこの職業に誇りを持ち、生涯ワンディング（行脚）を通じて、治療師をして益々の磨きをかけて行きたいものです。

自宅 大阪府交野市

ワングルこそ我が人生

浅野泰造 (32)

体育の時間、6月頃淀川までマラソン大会があり、走った思い出、又扇町プールで泳いだ思い出、冬は関スキー場（長野県）に行った思い出、沢山あり、瀬江を読む毎になつかしく思っています。ゼミは藤田敬三学長のゼミで「中小企業の下請」で10人ほどで研究会をした思い出。

私は39年3月卒で、扶桑鉄（株）入社、2年間つとめて退職、1年間勉強し石川県の教育会に入り、35年間教員生活、平成13年3月定年退職。1回も購読料も払わず誠にありがとうございます。本学の発展を喜んでいきます。

自宅 石川県加賀市

定年後の生活

九鬼正隆 (33)

私は尼崎市役所を定年退職して4年過ぎます。

現在は微力ながら地域活動をしています。保護司を拝命しており、経大生と同年代の青少年達の罪を犯した傷害事件、薬物、暴走族等交通事故などの更生に尽力しております。

なお、家庭では、酒を飲みながら阪神を応援し、旅をし、孫と遊ぶ等々の毎日を過ごしています。

人生は苦を楽に変え平穩に

自宅 兵庫県尼崎市

友人と共に培った人間性

佐藤賢次 (36)

今年度末の定年退職を目前にして思う「母校で得た財産」を端的に言い表せば、友人を通して自分自身を知り、自分の生き方・考え方を探求し、幅広い人間性を体得することができたことである。学生アパートの友人と夜遅くまで議論を交わしたことで、ゼミの仲間と専門書を輪読し、他大学との交流会に参加して勉強し合ったこと、夏休暇中、寮時代の友人と今は無き

皆さん、一度覗いてください

大坪公司 (39)

変わる大経大■久々のキャンパスは、混じりけの無いピュアな豊かさに溢れていた。何か恥づかし、違和感のある居心地で、暫し馴染むことが出

母校で得た私の財産

波根伸俊 (32)

昭和37年春に入學した私は、いわゆる旧制高校的な雰囲気のある学園生活を母校で過ごすことができたと思っている。

学生寮に入ったお陰で、全国から集まった72名の寮友と交流し、先輩・後輩との付き合いもでき、何よりも「一生の友達」を得ることができた。

また、ゼミの指導教授や学生寮関係者など尊敬できる師との出会いがあり、卒業後も親しく指導を得ることができたことである。

自宅 滋賀県大津市

楽しいアパート生活！

矢野義彦 (35)

当時東大道町に新しいアパートが完成して私も4・5帖の部屋に入りました。たまたま2回生ばかり16人程でしたが皆それぞれに出身地も違い、四国、岡山、広島、京都と色々でした。部活も、スポーツもあれば文化系もいて本当に楽しい生活でした。トイレ、洗面も共同でして、洗濯機もなく冬など冷たい水で洗って干していました。

4回生になると昼過ぎから連れ立って25円を持って銭湯に行きました。もう人生定年ですが今も親交があります。

自宅 愛媛県新居浜市

珠玉の思い出

木下進 (38)

大阪を離れてから35年、私達団塊の世代が在籍したのは、万博があり、大阪が最も元気な頃でした。西陽の射す狭い下宿で、アルバイトの日当が1000円以下で、日々汲々でも、大学界隈は気易い「めしや」があり、優しい人達がいっぱいいました。学生仲間と青臭く、熱っぽい議論で夜の更けることもありました。卒業の春には学生運動の終焉とも言える浅間山荘事件があり、以来、ソ連崩壊等、世界情勢も大きく変化しました。IT社会到来で便利な時代になりました。反面、良いものも段々失くなったと当時を懐古するこの頃です。

自宅 埼玉県入間郡

母校との不思議な縁

滝重一 (23)

母校とは間接及び直接的に約46年間の関係をもたせていただきました。間接的とは、硬式野球部OB会及び関西六大学野球連盟など関連のお世話を約40年間。直接的には、法人の監事を拝命し5年2ヶ月が経過しました。

いえば、人生の大半ご縁をもたせていただき不思議という以外に言葉は見つかりません。

その間、母校は着実に発展してまいりました。しかし今、大学を取り巻く環境が大きく変化する中、仁王立ちの形相で岐路に直面しております。全国で活躍の皆様、楽しかった青春時代に思いをはせ母校にご声援ならびにご支援ください。

自宅 京都府長岡京市

高老年者になって思うこと

鬼束紀美子 (24)

昭和30年前半経大で過し、女子学生チラホラ：鹿児島から上京の親戚も学士の会計事務を使っている親父さんは、エライと言いつづけてくれた時代、両親、姉、兄、恩師の言い残した言葉「その場、その場で必要に、常識を失わず、経大イズム、人間科学」一番難しいことが身にしみて大切に思う昨今一層の発展を祈ります。

社会という大学を忘れずに全て健康に余生を過したいと願っています。

自宅 和歌山県和歌山市

自分史と西暦

高橋致 (25)

今更、自分の過去の過ちを文字にしても、反省してもこの歳ではもはや手遅れであろうと思っていたが、昨年、幸いに古希を迎えることが出来た。70年間という期間を私はどの年代にどのような環境で、どのように生きてきたのか、年表を作ろうと思った。そこでその年の特筆すべき出来事など、社会の背景を入れる参考資料を見て愕然とした。すべて年代が西暦表示である。

今振り返ってみると、私が発信する書状、はがきをはじめ書類は公私を

多くの友人、強靱な身体、精神を得る

田中良昌 (26)

地方出身の人間が都会の大学に進学し、得たものは大きい。

所属するゼミナール、運動部などを通じて全国規模で数多くの友人を得ることができた。これは私にとって何物にもかえがたい生涯の財産であり、人生の幅を広くしてもらった。

また柔道部で4年間在籍しました。日々の厳しい練習、合宿に耐え抜くことで「強靱な身体」が造られ、精神面では「どんなことにもギブアップしない」「負けない」という粘り強い（我慢強い）精神力が醸成された。

自宅 徳島県鳴門市

母校への提言（お願い）

三木庸義 (26)

大学を卒業後約40数年になります。が、その間母校へ行く機会がなく、8年前より同窓会に出席して、大変驚きました。

これが我々の卒業した母校かと思いを膨らませるばかりのすばらしい校舎が建ち並び現在の学生は、こんな幸せな環境で勉強に励めるのをうらやましく思います。

しかし、今母校には一つも以前の校舎はなく、他の学校のように、落ちつかず、同窓生同士で話していても学生時代の郷愁が湧きません。

そこで、学校の片隅にでも、新・旧校舎を一つにした配置図看板を設置していただきたい。そうすれば、在学当時の思い出がよみがえり、より母校に対する親しみが湧いてくると思います。

自宅 兵庫県姫路市

私の思い出

三上（笠谷）良雄 (30)

毎度、「瀬江」を送っていた大変なつかし、愛読させてもらっています。

母校への提言

一村かおり (60)

国境という垣根が無くなりつつある現代、これからは、もっと世界に視野を向けて行かなくてはならないでしょう。経大には、世界で通用する学問・語学・感性を育成するプログラムの元、卒業生が地球規模で活躍できる土壌を構築していただき、よりグローバルな大学に発展して欲しいと思います。

自宅 大阪府大阪市

大学生活で得たもの

竹中英臣 (68)

私は大学4年間、母校付近で下宿していました。その時間はとても有意義なものでした。気の合う仲間達との日々、素晴らしい恋愛、自由な時間に対する試行錯誤。我が身の方角性について深く考える事ができる環境でした。現在は、その試行錯誤の末、兵庫県姫路市で司法書士として業務を営んでおりますが、今後も大学生活で

お支えをいただいている今日

浦尾雅文 (58)

お陰をもちまして、10年前から、地方議員を務めさせていただいております。そのようなことから、最近、地域に住む卒業生の方と出会い、お声をかけていただくことが多くなっております。団体役員や事業者、公務員などさまざまな職業の方がおられますが、そのような卒業生の皆様に、ご指導をいただきながらの現在です。大阪経済大学を卒業させていただいたことに誇りを感じ、感謝をしています。今後ますますの母校の発展を心からお祈りいたします。

自宅 大阪府河内長野市

母校で得た私の財産

藤田真永 (60)

大学を出て、10数年になりますが、在学中に体育会のクラブ(ヨット部)に所属し、4年間下手なりに続け、卒業した今でも夏になるとつらい、長い合宿のことを思い出します。社会人になっても10年以上経つても、変わらないものは、やはり、続けてがんばること、あきらめないで、物事に真正面から向き合うこと。そのことは、学生時代、何か一つのこと、4年間ではあるが、続けたことが今も私の財産でもあります。ほこりでもありません。

自宅 三重県亀山市

母校で得た私の財産

野村(伊藤)えみこ (69)

期待と不安でいっぱいだった学生生活。就職課程を専攻することになりました。古宮先生の講義で学んだ、相手に気持ちよく伝える話し方、相手の話を聞く上手な方法が、日常生活で活かされています。新しい友達にも出会い、悩んでいる時に相談につづくれ、励ましてくれたり、一緒に喜んでくれた友達。

大学生活で得た宝物は友情と就職課程の先生方。そして、大学生活そのものが私の財産です。まだ教員にはなれていませんが、自分の夢を叶えたいです。

自宅 愛媛県西条市

母校で得た私の財産

益吉功章 (70)

大学は勉強する場ではもちろんありますが、それ以上に得た事は本当に信頼のおける友人に出会えた事です。大学を卒業したら大学の頃の友人とはほとんど連絡がないといった話を数人から聞いたことがあります。僕の場合は大学を卒業して数年が経つても、大学一回生の時に同じクラスだった友達数人と連絡をとったり遊んだり、仕事の事や将来の事など何でも話せる大切な友達と出会えた事が私の財産です。

母校への提言

在学当時、派遣留学に少し興味があったのですが、結局夢に終わってしまいました。私が在学していた時よりも留学制度が充実してきたと思うのですが、留学する人数が少ないような気がします。英語等に興味があり、もっと実力を伸ばしたい学生が一人でも多くの留学制度を利用できるようにになればと思っています。

自宅 大阪府豊中市

母校で得た私の財産

高濱俊光 (39)

私は、現在、東京都の公立小学校の教員をしております。母校で得た財産は何か。そう問われれば、こう答えたいと思います。それは、学問の面白さを、我が母校、大阪経済大学が教えた味をわけてくれたことだと。漂うアカデミックな雰囲気と自由な校風、個性的な教授陣による授業、それらは私に十分過ぎるほどの知的欲求を喚起してくれました。そしてそれは、今なお衰えることがありません。これこそが、母校が与えてくれた財産です。

自宅 東京都八王子市

母校に期待する事

小林秀夫 (43)

卒業後30数年、思えば高校3年の春、受験雑誌の関西私学の雄「大阪経済大学」の文字、そして全国トップレベルの学費の安さ、これが志望の動機でした。現在関西地区の知名度は高いと思いますが、関東地区では今一です。是非全国区の大学に、そしてオンリーワンの存在のある大学に発展されますよう改革と革新をさらに進めて頂きたい思います。

新幹線の車窓より

河合鉄夫 (43)

新幹線の車内放送が始まると、自然に左を見てしまう。学舎は30年前よりずいぶん立派になったが、私の身体は当時のA館の様相だ。

月3万円ほどの生活費。6畳で月6000円と格安の下宿。入学当時は臭くて飲めなかった水道水がいつの頃から平気になり、友人も増えた。理論武装のために本を読み、小難しい言葉をやらせと使っていた時期もあった。遣り残したことも多いけど、大経大での4年間は貴重で充実していた。車窓に友の顔がうかがふ。

自宅 愛知県豊川市

4回目の年男を迎えて

梅原尚人 (48)

同窓会関係各位の皆様の御努力、御尽力に、心より感謝申し上げます。また同窓生各位の御健勝を祈念致します。

自宅(赴任先) 長野県長野市
自宅(帰省地) 長野県塩尻市

長男がこの春大学へ進学。私は年男を迎えていました。月日は流れるように過ぎますが、経大での思い出は何年経ってもグリークラブでの活動、そしてゼミでの学習ではないでしょうか。合唱活動は地元の合唱団と縁があり14年間続いています。地元と深く関わり、施設訪問活動も行っています。クラブ活動は生涯自分の宝になると思えますし、ゼミでの学習、体験は、大学での勉強の思い出となるような気がします。経大は新しい学科が設けられ、多くの学生が学んでいるようですし、グリーも元気に活動しており、うれしく思います。ゼミでの学習、部活動での思い出が長きにわたる残りよう、サポートある経大でありますことを祈りたく思います。

自宅 京都府綾部市

母校への提言

田岡弘志 (49)

大学時代はクラブ活動とアルバイトに明け暮れ、この歳になって、大学時代を回顧する度に、何か一つでも専門分野での勉強をすべきだったと後悔致しております。少子化が進む中、大学間の競争も厳しくなり、各大学では様々な特色を打ち出し、生き残り懸命な模様です。

母校に於かれまして、学生への教育・資格取得等々の環境づくりを推進され、より優秀な学生を社会に輩出されること祈念して止みません。

自宅 大阪府大阪市

母校で得た私の財産

塚田隆夫 (53)

関西を中心として色々な地域から集まった同世代の顔も性格も十人十色な人達と会えて、下宿の部屋で夜遅くまで人生について、そして気になるあの娘についてあくでもない、こでもないというスプライト(ジュース)とポテトチップスで熱くトークのバトルをしてきた時間が今の自分に不可欠なものであり、又とても大切な思い出のページとなったのであります。

自宅 富山県富山市

ひとみ
(十三回)を
終えるにあたって

ひとみ会(第13期生会)

葉桜の美しい4月25日に経大卒60周年記念と、私達の傘寿の祝と兼ね、京都XIV八瀬離宮で「ひとみ会」を開催致しました。出席者は36名(宿泊者25名)と、同窓会会長始め黒正先生御息も参加戴き、40名で盛会裡に終える事が出来ました。この会の継続を希望する声もありましたが当番幹事になればその責務を重く感じる年令でもあり、敢えてこの機に終会する事に致しました。

14回生今年も元気に
九州旅行

第14期生会

毎年続いている14回生の旅行、今年は「黒川温泉・阿蘇山・天草」に出かけた(9月17日・19日・参加15名)。新幹線で博多、専用バスで秘湯・黒川温泉。宿は温泉街から離れたおもむきのある一軒屋夕食の創作懐石はちよと真似できない。温泉のあと、夜更けまでオシャベリが続いた。

2日目は晴天、バスで阿蘇大観峰へ。360度の景観に歓声をあげ、阿蘇山中岳火口ロープウェイでのぼる。幸運にも火口底のエメラルドグリーンの沼まで見えて大喜び。途中、歴史の街・日田を見学して天草五橋をこえ



思い起こせば、13回生の私達は、戦中戦後の真最中で、おしゃべりも遊びも出来ない悲惨な青春時代を在学中で過ごし、悲喜龍々を共に味わった仲間です。それ故団結心と支愛の精神は強く、80歳になっても我々の胸中には今もしっかり根付いています。これまでも御援助戴きました同窓会に深く感謝致します。

阿部淑子(13回)



天草へ。豊かな温泉と美しい海辺のホテルに落ち着く。
3日目の朝は海からのぼる美しい日の出で目覚める。隠れキリシタン・殉教の島天草の歴史を学び、2つの天主堂を回って、博多経由で帰阪した。
14回生は、昭和20年旧制女学校卒、戦争末期4年生2学年が同時に卒業、現在の年齢は78〜80まで幅がある。傘寿の同窓会も3回できるわけ……来年は能登半島にしようとの声もあり、同窓会旅行は元氣のモトになっている。

柴田悦子(14回)

オシャベリ好き
14回生の同窓会

第14期生会



14回生(大部分女性)はここ数年同窓会が活発である。女性80歳前後になつて仕事・家事・介護などから自由になるのかもしれない。去年は38名(11月8日)、今年は32名(11月7日)、阪急ターミナルビル「有馬」で開催した。友人たちの話題はどうしても健康のこと。大病や大手術をした人も元氣になつて自分の体験を語るのを聞き「人生前向きで生きなアカンね」と感心する。「米寿(88歳)まで集まろうよ」の声も。

おしゃべり好きの私どもは、年一度の同窓会ではもの足りない年に数回「オシャベリ会」と称するつどいを開

平成19年度
16・18回生の集い

第16・18期生会

日付 平成19年5月14日(月)
場所 ホテル一栄(大阪市内)
ひとりでも多くの参加を念頭に毎年試行錯誤をくりかえし、本年は中平同窓会長、岡山・中京地区からの参加もあつて昨年11名を凌駕する19名となった。所用・体調不良等で欠席の常連を含めると20数名になったで

柴田悦子(14回)



23期生の集い

第23期生会

来年から再来年前半にかけて、私たち同期生はひとり残らず数え年80歳に到達することになる。健康に留意してこれからの余生を有意義に過ごそう。

来年の集いにはふるって参加しよう。
19年度例会発信数 129
無返信数 46(35.7%)
酒井克己(16回)



昭和35年卒業のみなさんへ

経大26会第26期生会

平成15年11月16日に本部同窓会総会終了後、生協食堂で43年振りに第一回経大26会を開催し、毎回30名以上の出席をいただいております。

次回「第6回経大26会」の集いを左記の通り行ないますのでゼミ・クラブ等の知人をお誘いのうえ、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

記

日時 平成20年5月18日(日)

昼 12時30分受付

会場 尼崎市潮江1-4-1
(JR尼崎駅下車山側)

ホテル「ホッピン」アミシング
1階宴会場キリンビル直営
会費 一人 5000円
宴会時間 午後1時〜4時
事務局 笠井 090-21106-4822
笠井二郎(26回)

夢ある明日の花よ咲け

29 同期生会

加速する高齢化、そして格差が増大中の地方(松山)に帰郷して地域で老人会の世話役や、民生委員をしながら介護施設(よし子ハウス)を立ち上げて3年、後手後手に廻る国の対応策にもめげず、これも与えられた試験と心得て介護の仕事に奮闘努力しています。さて私共29同期生は偏差値等のない時代の学生でしたから、昭和30年代には私の様に地方から数多くの学生が経大に集結し、又地元京阪神の仲間達との幅広い層の人材がお互い交流し、カルチャーショックを受けながら日々切磋琢磨して、新たな活力と免疫力を身につけて母校を巣



立つてゆきました。あれから40数年、各方面で汗を流して活躍し、一山越えてきた元気の同期生が「年に一度は会おうぜ」を合言葉に毎年秋に集っており、今年も楽しみにしています。ところで今や日本は男性79歳、女性86歳の平均寿命で世界に誇れる長寿国ですが、実のところ、寝たきり老人等、問題点のチエックをしますと、各々10歳を差引かなければならないといわれています。そこで出来るなら仕事、ボランティア、趣味なんでも結構ですから元気でチャレンジ精神を持って、今日を全力で過ごせば、夢ある明日がきっと見える筈です。どうでもいいや!の諦めは厳禁です。

さあ「夢」という名の花を共に精一杯咲かせてみませんか!



30期(昭和39年卒)同期会

第30期生会



第3回同期会を7月29日(日)に母校50周年記念館で開催しました。規模よりも機会を大きくしようとの趣旨から、毎年恒例となっており30名は

どが集いました。遠くは徳島から阿部好宣君(藤原ゼミ)、伊賀市の池田周碩君(中村九ゼミ)、和歌山の松本公望君(倉辻ゼミ)が駆けつけてくれました。ゼミやクラブは異なっても、カレッジの時代に培われた「同期の桜」には深く色濃いのがあるようです。

同窓会の形骸化が案じられる昨今ですが、我が同期会も学生時代にタイムスリップする追憶の場に止まることなく新たな役割も果たしていきたいと思っています。

今回欠席の方も来年はぜひ顔を覚えて下さい。お待ちしております。

田村正晴(30回)

合気道部創部45周年

氣流会合気道部OB会

わが合気道部は、昨年創部45周年を迎え11月12日に、記念式典を行いました。甲南大学、滋賀大学、京都女子大学等を招待、又OBも60名参集し、我々なりの盛大な式典となりました。

半世紀に近い年を迎える事が出来ました。諸先生方、師範をはじめ、他大学合気道部等のご指導ご協力のたまものであると、心より御礼を申し上げる次第でございます。

私が、経大体育会合気道部に入部致したのは、昭和38年4月であります。当時は新入部員16名を含め、総勢40余名でした。

現在の部員数は15名と厳しい状況ではありますが、全員、合気道の精神を胸に、日々練習に励んでおります。

空手道部の歴史と精神

空手道部OB会



空手道部の歴史は古く、戦後間もない昭和26年に産声を上げ、爾来56年の歴史を重ね、学内でも有数の古い部としてその存在感は言うに及ばず、

OB会は、「氣流会」と称し、毎年11月3日を総会日と決めて、母校に集まり現役の活動報告、会計報告、OBメンバーの状況等の報告を受け、必要諸事項を議決しております。又、集まったOBメンバーに対して、各同窓メンバーと連絡をよく取り、OB会費をはじめとして、現役をよりサポートする様にと、指示を出しております。

皆様におかれましては、体育会合気道部を、今後共、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

梅田武(33回)

数々の戦績は関西はおろか全国に「大阪に経大有り」とその名を馳せて参りました。現在空手は武道からスポーツへと変貌し、遠からずオリンピックの公式種目に加えられる事でしょく。そんな中我が空手道部は今後共古き武道精神を守りつつ研鑽を重ね、勿論上位校を目指しますが、反面現在忘れがちな「礼儀」という面も大切に、経大生として恥ずかしくない人間形成にも力を入れて参りたいと考えています。武道精神とは「礼に始まり礼に終る」正に人間として大切な部分も学んでほしいと思っています。

佐藤武司(30回)



空手道部OB会

空手道部(33期)OB会

私達、昭和42年卒業(第33期生)の空手道部の同期メンバーは2006年、11月3・4日、箕面観光ホテルで2回目の同期会を開催致しました。当時の空手道部は50人以上の部員数を誇り、全国大学選手権で準優勝



するなどとても活発なクラブでした。

空手道部に入り最初に教えられた事は「礼儀に始まり礼儀に終わる」で、それだけに厳しい練習は当然ながら、先輩との上下関係にはことさら厳しかった事を、昨日の様に懐かしく思い出されました。

2年振りの開催でしたが、佐賀から大串君、鳥取から米谷君、徳島から川崎君など10人の同期生が集まり、40年前の当時の思い出話に花を咲かせました。

古い表現ですが、「同じ釜の飯を食べる」仲間が格別です。次回の同期会は平成20年を予定、全員健康に留意し元気な姿での再会を約束しました。

幹事 森藤万生(33回)

平成19年度

硬式庭球部OB総会開催

硬式庭球部OB会

さる5月19日(土)午前10時から江口グランドテニスコートにおいて平成



19年度OB総会ならびにOB対抗戦を行なった。

晴天に恵まれ絶好のテニス日和となり、参加したOBは久しぶりのラケットの感触を楽しみながら、心地よい汗を流した。

昼食をはさんで型通りの総会を終え、今年新たに新加入した11人の新入部員の自己紹介が行なわれた。それぞれが部活動をやるに向けての意気込みを、元気よく語ってくれたが、例年多数の新入部員を迎えながら、最後まで部活動を続けることができず、途中で退部する者が多い。それだけ我慢するとか、根性のある若者が少なくなっているのも事実だが、先輩

部員の思いやりとか、みんなで目標に向って遣り抜こうという気風を、硬式野球部内に漲らしてほしいものだ。またOB諸氏も側面からそれに応援する姿勢を忘れないでほしい。

なお、恒例のOB戦は、森川英雄（昭和36年卒）宮武昌平（平成19年卒）組が3勝1敗で優勝した。

森川義一（25回）

東京支部でも硬式野球部へ お祝い金の贈呈式行なう

硬式野球部



東京支部（支部長、藤本二郎氏）では、平成19年5月12日（火）東京都港区赤坂の「陽光ホテル」で、関西六大学野球春季リーグ戦で31季ぶり、7回目の優勝を遂げ、神宮球場での全国大会出場を果たした、硬式野球部に対してお祝い金を贈呈した。

贈呈式には藤本東京支部長、山下

同事務局長、井阪元理事長ら東京支部会員、さらには中平同窓会会長、林野球部長、桜井野球部監督、コーチ、キャプテン、マネージャーらが出席し、全国大会での健闘を誓い合ったが、出席した同窓生からこの度の全国大会出場を大変喜んでいて、これからも大いに大阪経済大学の名を高めるべく頑張つてほしい」と激励の言葉を送っていた。

広報部 森川義一（25回）

平成19年度 柔道部OB総会開催

柔道部OB会

平成19年3月21日、西梅田、北京彩館に於いて平成19年度の総会を開催。当日は吉田相談役、逸見相談役、鹿兒島県より横枕健一（OB（46回））等々遠方よりの参加をはじめ、各地より85名の参加を得て開催。石橋事務局長の開会宣言と司会が始まり、下垣会長の挨拶と、入江前部長先生はじめ物故者の冥福を祈り黙祷の後議事に入る。18年度の事業報告、会計報告、会計監査報告を行い、いずれも出席者全員異議なく承認される。引き続き19年度事業計画案、会計予算案の説明があり、原案通り承認可決する。引き続き今年役員改選年につき役員選出の選出を行い次の通りとなった。

相談役 吉田文雄（24回） 留任
逸見 学（26回） 留任
会長 下垣恒彦（34回） 留任
副会長 内田 正（33回） 留任

佐々栄治（34回） 留任
中田有司（43回） 留任
岩崎 隆（47回） 新任
石津 基（34回） 留任
藤田三郎（36回） 留任
常任幹事
児玉道憲（30回） 留任
西野 勲（40回） 新任
植村亮介（41回） 留任
尾田 守（54回） 留任
幹事補佐
仙波利章（69回） 新任
松田記幸（71回） 新任
斎藤 啓（71回） 新任
現役指導部
監督 安田 太（46回） 留任
助監督 桂 剛（61回） 新任
以上の通り選任され選任者もこれを了承する。以上で総会は終了し、続いてOB親睦会および現役卒業と新入生の歓送会を行う。来賓に大橋部長先生、西岡弘師範および同窓会本部より水納副会長、竹中事務局長をお招きして始まる。会長挨拶の後、大橋部長先生、西岡師範、水納副会長、竹中事務局長からも挨拶を賜り、吉田相談役の乾杯のご発声で和やかな交流の輪が広がり、時の過ぎるのを忘れるほどであった。宴の半ばで安田監督より卒業生および新入生の紹介があり、今年も全国大会にかならず出場するという心強い宣言があり、一同大拍手となる。最後に逸見相談役より万歳三唱があり、学歌、道遥歌、柔道部遠征歌を合唱して、佐々副会長の閉会の挨拶で幕を閉じた。

会長 下垣恒彦（34回）



第22回（平成18年度） 寄多郎会 雄琴温泉琵琶湖グランド ホテルに集う

寄多郎会（柔道部OB会）



この会も回を重ねて22年目になる。光陰矢の如し歳月人待たずと申しますが、第一回目を有馬温泉兵衛紅葉閣で開催してより22年が過ぎ、会の最高齢者は71歳と古希を過ぎる年齢と成りました。

平成18年11月21日（火）琵琶湖畔にある雄琴温泉、琵琶湖グランドホテルに15人が集う。かつては風俗営業で有名な雄琴温泉も今は、その面影も少なく静かで女性客に美人の湯として人気があるとの事にて、この日も、観

光バスが次々と来て大ホテルも超満員の状況。その美人の湯に入り肌もスベスベになった後、夕7時より吉田幹事の挨拶、上野幹事の乾杯の音頭で宴が始まる。

いつもの事ながら、集まると学生時代の合宿や試合の事、孫の事、健康の事など、話が延々と続き、宴会場より幹事の部屋に場所を変えても尚続く。翌朝5時一部の人々は堅田の浮御堂を始め湖畔をウォーキング。9時にホテルの玄関前で記念撮影の後、湖東三山の百済寺、金剛輪寺、西明寺へ紅葉狩りを行う。素晴らしい紅葉を満喫した後、西明寺門前にある一休庵で遅い昼食を取り、来年の再会を約して散会する。

（平成18年度の澱江掲載原稿締め切り後の寄多郎会開催にて一年遅れの掲載となりました）

上野允也（24回）
吉田文雄（24回）

寄多郎会小豆島に集う

寄多郎会（柔道部OB会）

回を重ねて第23回目の寄多郎会を平成19年11月7・8日の両日、香川県小豆島ホテルにて開催する。

70歳を超える人が多くなつて、病気の人の足、足の悪い人達等、参加者が少なくなる中9名の人が集まり、醤油の香りが漂う小豆島町の町並を散策し、ホテルの温泉でゆっくりと体を癒した後、宴会に入る。高齢の為か話は互いの健康の事や孫の話に始まり、結局は学生時代の合宿の事や試合等の

苦しかった事の話に行き付く。宴会の後も幹事の部屋に集まり又話の続きが夜遅くまで延々と続き、柔道部の遠征歌や、道遥歌、学歌を歌って床につく。

翌朝9時にホテルの玄関前で記念写真撮影の後、ホテルの観光バスで寒霞溪、オリーブ公園、マルキン醤油記念館、二十四の瞳映画村、岬の分教場等を見学。坂手港を15時10分発で一路神戸へ向う。

この寄多郎会が今後も末長く続く事を祈り、来年も元気で再会する事を約して家路につく。

的埜淳（25回）



日本拳法部 創部50周年記念式典

日本拳法部OB会

日本拳法部の創部50周年を祝う記念祝賀会を、平成19年2月25日（日）本学同窓会ホールでOB関係者ら132名が参加して開催いたしました。オープニングは昭和33年の創部当時、

同好会のため体育館の使用が認められず、運動場の片隅で、防具も無く、空乱で練習していた頃の様子をDVD映像で紹介し、続いて創部10年目の昭和43年、全日本学生拳法選手権大会で初優勝を成し遂げ、同46年、同47年には同大会で連覇（47年度は関西大会と完全制覇）を飾った輝かしい戦績が紹介されました。

続いて重森学長代理の北村副学長、中平同窓会会長から過分な御祝辞を賜り、日本拳法部の小西会長からはエピソードを交えた温かい激励の言葉を頂戴致しました。

そして全日本学生拳法連盟啓席会長の乾杯の音頭で祝宴が始まり、程よく酔いが回った頃に挨拶に立った鮫島体育会連絡協議会会長の、運動選手の特別推薦入学制度に向けての熱い要望に、正気に戻ったように聞き入っていました。

祝宴も佳境に入り、岡本OB会会長の永年の功労に対して長田部長から感謝状、宮崎新OB会長から記念品が贈呈され、監督の私から日本拳法部へ感謝の気持ちを表し、100周年に向けて新看板を上松、坂本新旧両主将に手渡し新しい顔としました。

50周年記念式典を開催するに当たり、大学、同窓会の皆様に大変お世話になりましたことを、ここに衷心より御礼申し上げます。また、DVD映像を製作した沼田実行委員長、式典を設営した酒井、細原、野村副委員長、記念誌の制作を担当した津組編集長、



から5名に減少されるなど、後退する方向にある。学校側がいう成果主義の評価基準とは何かを問うと共に、推薦枠の100名への増枠を同窓会と連携して学校側と話し合っている。また、マナー懇談会の継続実施やスポーツ学生が利用しやすい特別カリキュラムの活用なども引き続き主張していきたい」と、こんごの活動方針を述べられた。

つづいて事業・会計報告を承認して懇談に入ったが、出席者から次のような報告、要望、提案が相次いだ。

まず、堀本修陸上競技部OB会長(24回)から「陸上競技は36競技もある。現在の8名の枠でも少なく、すべての競技にエントリーできないのに、5名に減少するという。何を基準に考えているのか。このままでは大学駅伝の予選会出場もできなくなる。大学の名を売るために、どれだけ効果を

挙げているかを理解してほしい」と鴨下順二剣道部OB会長(38回)「100名の枠を一日も早く田中康晴体育会本部長(陸上競技部4年)「応援団を解消して久しいが、体育会本部傘下に応援部を作る計画です。それから本学が決めている推薦枠のA・B枠の基準がどうなっているのか教えてほしい」本林良章ソフトテニス部監督(47回)「10月末の試験日程では遅すぎる。他校は9月に終わっている。それに推薦枠といつても受験して合格しないと入学できない。監督の意向はまったく受け入れてもらえない」児山圭一ハンドボール部OB会長(36回)「授業料免除の枠を取ってほしい」そのほか「弓道部の練習場設置を要求しているが、いまだ実現せず」運動部の掲示板をもっと増やしてほしい」といった意見が相次いだ。

つづいて今年活躍した次のクラブ並びに個人に対して、鮫島会長から記念の盾と金一封を送り表彰した。

・アイススケート部(関西学生氷上選手権大会男子1位、国体500m優勝—上村大輔)

・空手道部(全関西大学空手道選手権大会2部優勝1部昇格)



・弓道部(関西学生リーグ戦女子3部全勝、入れ替え戦に勝ち2部昇格)

・準硬式野球部(関西地区準硬式野球選手権大会優勝)

・卓球部(関西学生秋季リーグ戦優勝1部昇格)

・バドミントン部(関西学生バドミントン秋季リーグ戦2部優勝1部昇格)

・ラクロス部(関西学生ラクロスリーグ戦男子3部2位、入れ替え戦勝利2部昇格)

・陸上競技部(ハンガンマラソン2006優勝—大寺雅則)

・ソフトテニス部(関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦3部1位、2部昇格)

なお、推薦枠ならびに助成金の大幅削減となった責任を取ってラグビー部OB会会長の藪田忠生氏(25回)から同体連協副会長の辞任の申し入れがあり、これを承認した。

総会終了後会場をB館2階のカネルに移し懇親会を行ない一同交友を深めた。

広報部 森川義一(25回)



劇研OB・仲秋交遊の宴

劇研・青春の会

老いてなおしなやかに、これが劇研OB会の台詞。今年も青春を持ち寄り、14期から18期まで男女14名が集まる。堀本・杉山・駒・酒井・刀根・本田・松本・伊藤・内田・陰下・木下・田中・箕形・中村。宴の舞台が開くと、青春時代、あんな話、こんな話。石川、梅田、辻部教授には部として大変お世話になったことなど昨日のようである。宴席更に華やき、19階会場の眺望は、秋の淀川や我が経大も指呼の間。若き日の思いは走馬灯の如し。素敵な仲間の語らいも定刻来たり至福の時を惜しみ各自梅田界隈へ散会した。「青春がキラリとひかる秋日和」であった。次回の再会を約し、多くの友のご参加を希みつつ今年の秋の「青春の会」を終了した。

中村行男(16回)

第55回東経大対大経大 陸上競技定期対抗戦開催

陸上競技部OB会

平成19年8月12日(日)午前10時から関西学生競技連盟後援、大阪陸上競技協会運営協力のもと、堺市金岡陸上競技場において東京経済大学との定期対抗戦を行なった。

当日は気温37度の猛暑の中、堀本修大経大OB会長(24回)の開催の挨拶に始まり、前年優勝校東経大の優勝旗返還、大阪陸上競技協会、矢代氏の競技上の注意説明があり、参加選手全員(約110名)の記念写真の後、



16回にも及ぶ実行委員会に参加していただいた委員の方々に、心から御礼を申し上げます。同窓会の皆様の御発展を祈念申し上げ報告とさせていただきます。

日本拳法部監督 山本隆造(37回)



各種競技が行なわれた。

戦績は短距離、投てきに強い東経大が優勝(過去の戦績は東経大18回に對して大経大は37回も優勝しているが、近年は一方的に東経大が勝っている)。山田裕康大経大教授から優勝杯、各賞に表彰杯が授与された。

故八木田陸上競技部部長に感謝状

2部は場所を大阪中央区のなんばダ・オーレに移し、両校のOB会を交えて懇親会を開催、東経大の陣内教授から「陸上競技部専用の寮の建設、長距離専任コーチの採用や長距離陣だけで30名も強化する。近年お互い頑張つて全日本大学駅伝で会いましょう」とのユニークな挨拶の後、昨年7月に亡くなられた大経大陸上競技部部

各種競技が行なわれた。

戦績は短距離、投てきに強い東経大が優勝(過去の戦績は東経大18回に對して大経大は37回も優勝しているが、近年は一方的に東経大が勝っている)。山田裕康大経大教授から優勝杯、各賞に表彰杯が授与された。

故八木田陸上競技部部長に感謝状

2部は場所を大阪中央区のなんばダ・オーレに移し、両校のOB会を交えて懇親会を開催、東経大の陣内教授から「陸上競技部専用の寮の建設、長距離専任コーチの採用や長距離陣だけで30名も強化する。近年お互い頑張つて全日本大学駅伝で会いましょう」とのユニークな挨拶の後、昨年7月に亡くなられた大経大陸上競技部部

経大OB親睦ゴルフ会 開催される

経大OB親睦ゴルフ会

同窓会本部主催の経大OB親睦ゴルフ会が平成18年12月5日、名門三田ゴルフクラブで開催されました。

中平同窓会会長出席のもとで4組、丹有支部、豊中支部の方々にもご出席いただき、厳しい寒さの中、親睦を深めながら、楽しく元気に一日プレー致しました。

終わりは、次回開催を期待して散会となりました。

戦績は次の通りです。

優勝 藤縄 健一(37回)

優勝 西村 敏一(31回)

2位



長八木田教授の睦子夫人に、堀本OB会会長から感謝状と記念品を贈呈、伊藤東経大OB会会長からも故八木田先生に苦杯をなめた思い出話と共に金一封が贈呈され、山田教授の「来年は大阪が勝つ」との力強い挨拶で会を終えた。

会長 堀本修(24回)

2007年度総会開催

体育会連絡協議会

体育会連絡協議会は6月30日(土)本学同窓会ホールで、2007年度第7回総会を開催、挨拶に立った鮫島圭会長は「松谷前理事長退任から真銅理事長就任まで、なにかと学内事情が停滞し、2001年に体連協を立ち上げて以来、学校側に申し入れていたスポーツ推薦枠の拡大などになんらの進展も無く、逆にラグビー部が13名から10名に、陸上競技部が8名



3位 中平 秀寛(25回)

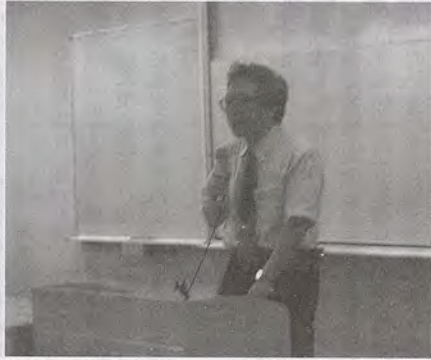
4位 岩貞 茂樹(30回)

5位 佐藤 武司(30回)

竹中亨(32回)

館で会員48名に大学側から重森学長ほか10名、本学学生5名、同窓会から中平会長ほか4名が参加して開かれた。

まず、全体講演で重森学長から「大阪経大の進むべき方向」と題して「2007年度の入試志願者は14,868名(126.4%)と目標を大きく上回る」ことができ、就職面で



真鍋一美 会長



重森 暁 学長



金川 一 先生

も就職率はもとより卒業生の把握率が99%と大幅に向上した。これは2006年度から実施しているキャリアサポートシステムによつて、一人一人の学生を大切にできた成果であり、これからのシステムを大切にしていきたい。こうした現状を踏まえて、これからの大学の方針を申し上げるならば、大阪経済大学は経済・経営系の伝統を基盤に、世の中で活躍し貢献する多彩な職業人を育てるというミッション・ステートメントのもと、「つながる力N.O.1」を基本コンセプトに、人と人との出会い、交流を大切に「つながる力N.O.1」を目指す。これを指針にして、学生の自主性、主体性を発揮させていくという大経大ブランド戦略を確立する。そのうえでこれまでも申し上げてきた人間的実学教育の充実、社会人文系の総合大学づくり、社会に貢献する大学、自由と融和と協働の大学運営と

いう基本方針を推進して行く方針」との力強い将来展望を語られた。

これを受けて参加者から「入試において単に量的確保だけを考えるのではなく、入試の方向性を考えてはどうか」「人間的実学教育の充実といわれるが、高校生へのアピールに繋がっているか疑問だ」「ブランド戦略とあるが、入口と出口だけで論じられている。卒業生がどう見ているかを考えてほしい」「人間科学部の位置付けがはっきりしない」「経大にも大学院生がいる。経大卒の教授を迎え入れてはどううか」といった質問、提案が相次いだ。

つづいて分科会に入り、第1分科会では、京都市立九条中学校校長の金川一氏(44回)が「中学校社会科教員としての30年を振り返る」と題して、自らが教員としての資質を高めていった経緯を語られたうえで、「大学のステイタスを上げるためには、高大連携



深井宣雄 先生

母校への思いをひもとく
大樟教育研究会(和歌山県支部)

平成19年6月17日、大学から広報課長の梅原猛氏、入試課の三井規裕氏をお迎えし、また和歌山県支部長の宇藤博文氏、事務局長の新田和弘氏の出席もいただき、第7回大樟教育研究会の和歌山県の会を、14名が参加して開催しました。本会も今年で7回をむかえ、創立70周年記念行事の「17才からのメッセージ」に、県下の高校教育が協力しているということではじまりました。その後毎年同窓の教員が集まり、母校への協力・情報交換の場として、年々有意義なものとなつていきます。わが母校を思う気

が当然必要だ。また最近の実習生は、基本的知識の欠陥が目立つ。良い実習生は大経大の評価を上げる。それを送り出すのは大学の責任」と、また第2分科会では広島市立大手町商業高校校長の深井宣雄氏(37回)が「定時制教育の教育実践」を開かれた学校を目指して」と題して「定時制高校はいま統廃合が進み、厳しい環境に曝されているが、36年間の教員生活で学んだ事をすべて投げ入れ、思いやりと豊かな心で教育に邁進しております」と熱く語りかけておられた。

分科会終了後、同窓会ホールで簡単な懇親会が開かれ、参加者一同交流を深めたが、あいにくの台風の影響で早々に懇親会の幕を閉じた。

広報部 森川義一(25回)

12年ぶりの再会

珠算研究部OB会

昭和50年卒の珠算研究部のOB会を大樟祭期間中の大経大キャンパスで集うこととなり、平成18年11月3日午後2時に、同期11名中7名(写真)が、東京、鳥取、岡山などから集まり12年ぶりの再会となりました。



50周年記念館、70周年記念館、少し離れたところの新しい建物、また大学周辺の喫茶店・食堂なども30年前とは全く変わっていました。その中でいつも「パン定食」や「カツカレー」を食べた学館だけが昔のままでとてもなつかしかったです。その後難波がんと寿司本店(行き「大阪経済大学の…」と言

かけると、若い着物の店員さんが「ああ、ダイケイダイの方ですね」と言われ嬉しい気がしました。すぐに予約の部屋に案内され、午後5時30分より宴会。7名中3名が教員で、4名が企業戦士でみんな多忙で忙しい毎日を送っている様子でした。話したいことは山ほどあったけど3時間はあつという間に過ぎ、みんな学生時代あれほど歌った「学歌」と「道遥歌」を忘れていて急きょ店員さんにコピーしてもらい7人で肩を組んで歌いました。我々もあと数年で定年。これからの珠算研究部のOB会を運営していくに当って現大との関係なくしては語れないと思います。いや珠算研究部だけでなくすべてのサークルのOB会が少子化で忙しい全入時代の大学経営に貢献しながら活動してこそOB会の意義があり、大学の発展があると思います。各県支部は組織化されていますが、サークル系のOB会はまだバラバラです。しかしサークル系のOB会は実はすごいエネルギーを持っており、これを利用して大学との関連の中で運営されることが望ましいと思っております。皆さん、各部のOB会を開催されたら瀬江に報告して下さい。そして現大経大を援護していきましょう。

塚本行雄(41回)

脱皮

日立大樟会

今破綻寸前の自治体も多く、合併をしたり、企業誘致をし、多額の補助金を出し、税収増を見込み窮地を乗

第16回税理士大樟会
定期総会を省みて

税理士大樟会

り切ろうともがいている。私大の40%近くが定員割れをし、四苦八苦している私大の状況と酷似している。経大も窮地の有無は別にし、実力を正しく認識し、40%に入らないための施策を実行しなければならぬ。施策実行については、大学、教授、同窓会の3者が胸襟を開き、基本コンセプトに掲げている「つながる力」を前面に押し出し話し合いをしてほしい。良好な話し合いがあつてこそ、その力は強くなる。今更「つながる力」と思ふかもしれないが、今だからこそ大切なかもしれない。蟬の抜け殻にならないよう脱皮し、生き残らなければならない。

会長 辻本清孝(31回)



総会を開催、慎重審議され、全員賛同を得て終了いたしました。

次に会員期待の懇親会を開催、美味しい料理に加えて適度のアルコールが入り、大学時代を懐かしむ話、また税理士業務の現状、大樟会の将来像等話は盛り上がり、佐野多由子様(ビブアノ・古味亜紀様(ヴァイオリン)による軽快なメロディが会場に流れ、中締の後会場を去るのも惜しいなという雰囲気になった。大樟会は会員の親睦を大切にして、本校を卒業したことに誇りを持ち、大学発展のために何ができるのかを問い続けたいと考えております。

会長 長谷川宗平(28回)



第7回大樟教育研究会開催

大樟教育研究会

第7回大樟教育研究会(会長、真鍋一美氏)が、さる7月14日(土)本学B

[book]

「近江商人ものしり帖」

洲上 清二氏 (37回)

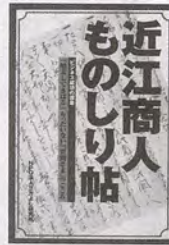
びわこ銀行にお勤めの洲上清二氏(事務統括部審議役)が、このほど「近江商人ってなに…」「もっと近江商人のことを知りたい」というニーズに応えるため、NPO法人三方よし研究所から「近江商人ものしり帖」を出版、地元滋賀県内はもとより東西の経済、産業界で話題を呼んでいます。

近江商人と言えば、かつて「近江商人が通った跡には草木も生えない」とか「近江泥棒」と揶揄される時代もありました。しかし近江商人の進取の気性やチャレンジ精神、国際性豊かな経営センスこそ、これからの企業経営に欠くことの出来ないものであり、「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」という近江商人の特性である「三方よし」の精神も企業の社会的責任の源流として、各界、各分野で注目されはじめています。

そこでこうした近江商人に関する正しい情報や真相を、できるだけ身近な話題で取り上げ、多くの人に理解を深めてもらいたいとして本書を出版。

なお、洲上氏は昭和46年3月本学経済学部を卒業後、滋賀相互銀行(現びわこ銀行)に入行、以来各種銀行業務をこなしながら日本金融学会会員、金融法学会会員、NPO三方よし研究所会員として活躍、銀行経営、金融法務からコンプライアンス、近江商人、まちづくりにいたるまで、広範囲な分野にわたって執筆活動を展開、なかでも自費出版文化賞を受賞した「近江商人の金融活動と滋賀金融小史」は、滋賀大学でゼミ教材として利用されています。

※写真/「近江商人ものしり帖」



営業実務がわかる

「儲けてなんぼ！ 法人営業実習ノート」

高澤 彰氏 (54回)



さいたま市浦和区で経営コンサルティングを営む高澤彰氏(松尾〔竹〕ゼミ)が、このほど営業マン必読の「儲けてなんぼ！ 法人営業実習ノート」(写真)を同友館から出版した。

高澤氏は昭和63年3月本学経営学部を卒業後、機械工具商社の(株)大同商会(現ダイドー株式会社)に就職、関東方面の営業拡充の為、埼玉県の大宮営業所に配属され、ここでセールスマンとしての第一歩を踏み出す。

学生時代は柔道部に籍を置きながら応援団の団長をつとめ、硬派のイメージが強かったが、サラリーマンになってからは、セールス活動のかたわら1級販売士、2級技能士(空気圧装置組み立て)さらには中小企業診断士の資格を次々と取得する理論派へとイメージチェンジする。そして入社して13年目の2001年経営コンサルティング会社(有)「タカザワ企画」を設立、現在では全国の自治体、商工会議所、金融機関、企業において企業診断をはじめベンチャー支援、各種講演活動に精力的に取り組んでいる。

企業は「儲けてなんぼ！」という書き出しで始まる本書は、まさに高澤氏が実体験で身に付けた商売のコツを理論・体系付けたもので、これ一冊を実習体験するだけで営業スキルをマスターできるというもの。「競争先の営業マンには読ませたくない本」と、評されている。

※写真/「儲けてなんぼ！ 法人営業実習ノート」

新・倫理考

一「分かち合い」の発見一

本学非常勤講師

藤田 隆正氏 (32回)



本学で非常勤講師を務める藤田隆正氏(山本晴義ゼミ)が、このほど「分かち合い」こそ人間の尊厳と説く、新・倫理考一「分かち合い」の発見一を見洋書房から出版した。

藤田氏は昭和16年11月京都市生まれ、65歳、昭和37年4月静岡県立静岡商業高校を卒業後、本学に入学、同41年3月卒業後PL学園高校で社会科の教諭として教育者としての道へ進む。ここで現場の教育について学ぶ中で、もう一段上の勉強をしようと同44年本学大学院に入学、同50年3月博士課程を修了し、大阪女子商業高校の社会科の教員として再び教壇に立つ。そして同校を定年退職後、3年前から本学の非常勤講師として「市民リテラシー(政治)」を講義している。

こうした教育者の道を歩みながら、平成5年に「分かち合い」とやさしさの倫理学一序説」を出版するなど、以前から人間の尊厳とは何か、人間と動物との違いは何かを追い求めてこられた。

今回の書は、その第2弾ともいえるが、チャールズ・ダーウインの進化論のように、生存競争による強者の弱者排除ではなく、強者と弱者という違いを持つもの同士が、お互いに「分かち合う」ことに、人間社会の進化の本質があると説き、福祉、ボランティアの現場や日常生活で何気なく使われている「分かち合い」という言葉の意義を再認識させてくれる一冊といえよう。(定価1785円)

※写真/「新・倫理考一「分かち合い」の発見一」

OB NETWORK

平成19年度 写真部OB・OG総会開催

写真部OB会

さる10月28日(日)午後1時から本学同窓会ホールで写真部OB・OGならびに現役部員ら70名が参加して、平成19年度写真部OB・OG会が開かれた。

まずOBを代表し伊藤敏之氏(28回)が「多数の現役諸君の元気な顔を見て元気をいただいたような気分になりました。現役の諸君は、あらゆる展覧会に挑戦し、写真の腕を磨き、さらに写真部の部活を通じていろいろな人とのコミュニケーションの輪をより多く広げていただきたい。そうすることで社会に出て役立つ人材になる」と現役部員にエールを送り、14回卒の渋谷(高橋)幸子さんと一緒に出席された同期の前田勝子さんからも「戦後間もない学園内にはまだ軍服を着た学生さんがいた時代です。写真部を作ろうと呼びかけられ、男性にまじって写真部で楽しい時間を過ごさせていただきました。食べるものにも事欠く時代でしたが、良き青春時代でした。今はこんなに立派な学園になって、ここで学べる皆さんは幸せです。大いに青春を謳歌してください」と挨拶さ

持ちはひとつであるということが再認識される会として、ますます継続・発展していくことを願っています。
木村清志(48回)

れた。またこの4月山口県周南県民局の局長に抜擢された藤原俊明氏(37回)も出席され「久しぶりの母校を訪れたが、立派になった環境で勉学に励まれることにまず感謝してください」と現役部員に感謝の心を強調され、森川義一同窓会副会長の乾杯の音頭で懇親会に入り、出席者一同和やかに懇親の輪を広げた。
同窓会副会長 森川義一(25回)

第七回二期寮友会の集い

二期寮友会

「おい、お前」365日寝食を共にし同じ釜の飯を食った仲間。二期寮友会が11月2日、3日千里藤白荘で開催されました。過日還暦祝をやった時「65歳まで待てんがな」と言われていました。案の定、脳梗塞、食道がん。役員退職後9ヶ月の入院生活等で若干名欠席致しました。皆それぞれ会社勤めの最高位まで登り詰めた男達です。物故者も6名となり年々一人減り、二人減り淋しさがつります。真の友人とは何でしょう？同窓会とは？ふと考えさせられる今日この頃です。生きとし生けるものいつかは死と出合います。人生そのものが旅人です。旅は人との出会いから始まります。同窓会の皆様どうぞこれからも素敵な旅をしようではありませんか？その為には何よりも健康が第一であることをつけ加えていただきます。
会長 桑原勇臣(32回)



社労士大樟会を作りませんか

社労士大樟会

雇用保険の未払い問題がクローズアップされてから、社会保険労務士の存在が急速に注目されるようになってきた。健康保険、労災保険、雇用保険、厚生年金などの加入・給付手続き業務をはじめ、従業員との労働契約、賃金管理、就業規則の相談・指導業務など、雇用構造の多様化で社労士の存在感が高まってきた。とりわけ中小企業のサポーターとして、経営上欠くことのできない存在になっているが、「大経大出身者でこの資格を取得し活躍している人も多い。税理士さんが税理士大樟会で活動しておられるように、社労士の皆さんもこの機会に社労士大樟会を作ってみては？」の声が高まっている。ちなみに岡山支部の岡本健也岡山県社会保険労務士会副会長、松永清彦同監事さんから賛同の意向を頂いている。心当たりの方は同窓会事務局まで一報下さい。お待ちしております。

広報部 森川義一(25回)

初めての単著出版

田野 大輔先生

初めての単著である『魅惑する帝国』政治の美学化とナチズム(名古屋大学出版会)を出版した。ヒトラー支配下のドイツ第三帝国を芸術作品に見立て、大衆がナチズムを支持した理由を「美」という言葉で読み解いたもので、10余年にわたる研究の集大成である。幸いいくつかの新聞や雑誌にも取り上げられ、まずまずの売れ行きである。今後は数年をかけて、ナチ時代の「性」の問題に関する著書を執筆する予定である。

老いても勉強

永野 仁先生

来年3月退職します。1967年4月就任ですから、まる41年勤めました。最後の年の授業をいとおしむように、ていねいに楽しく行なっています。『基礎演習』『文学入門』『日本の文学』『日本語表現』です。『文学入門』ではロシア文学やフランス文学など若い頃から親しんだものを扱いましたので満足です。フランス語と中国語の学習を続けています。これは死ぬまでやるつもりです。

ゼミ近況

細井 真人先生

4年生は、『株式売買のアルゴリズム』を、3年生は『データベースシステムの構築』をテーマに演習を行なっています。卒業生の皆様も気軽に

勉強していますか？

間野 嘉津子先生

やっと涼しくなりましたね。あの猛烈な暑さも今から思えば1ヶ月余りのことだったのだなと…喉元過ぎれば熱さを忘れ」とはよく言ったものと感心したりしています。ところでこの夏は何か感動的なことはありましたか？私は、以前フランスに留学中に元ゼミ生が奥さんと2人、パリへ旅行に来て私を訪ねてくれたことが忘れられません。

そろそろ社会的な責任も重くなってくる年ごろですね。一度きりのあなたの人生！精神的に優雅な将来を送れるように、更に勉強を続けていってください。ではまた来年度の紙面にてお会いしましょう。

初めての卒業生

増村 紀子先生

昨年初めて卒業生を送り出しました。ゼミ生は忙しい就職活動の合間をぬって各自のテーマにしたがって取り組み、期日には一定水準の卒業論文を完成させましたのでたいへんうれしく思いました。あれから半年たち、みんなは新しい職場でも頑張っているのかなときどき思い出しています。

最後の卒業生

榎本 淳子先生

榎本ゼミの卒業生の皆さん元気で



てまいりました。この間、同窓会はこの大学へ良い素材の学生を送りこみ、良い人材を社会に送り出すことに協力しようとして取り組んできました。つまり入口、出口論で申し上げてきましたが、大樟教育研究会、春秋会の皆さんをはじめ、各支部の皆さんにも大変お世話になりました。今年度は、まず真銅理事長との会合をはじめ、大学との対話路線を確立したいと考えております。つぎに支部の活性化と新支部の創設であります。これに同窓生がより多く参加できるように策を、本部としても考えねばならないと思っております。具体策については、19年度事業計画で申し上げますが、いずれにしても、大学は生き抜くた

すか？ 榎本ゼミは2008年3月に最後の卒業生を送り出します。「コンピュータリゼーションの過去・現在・未来」をメインテーマに皆さんの個別テーマで卒論を書いた経験は、私にとってもいい思い出です。その経験は、社会人になってきつと役立っていると思います。今後の連絡はEメールまたは、FAX専用電話にいただければ幸いです。

Eメール

mailto:naikin@kcc.zaq.ne.jp

FAX専用電話

0797-221-2531

キャリア講座で話をしなさい

松本 良治先生

ゼミのOBの皆さん、1年生対象の「キャリア講座」の講師として話をしに来てくれませんか。昨年は江川篤君(02卒)、今年は村田純一君(00卒)が、大学生活の中で自らのキャリアアップやキャリアデザインをどのように進めていけばいいのか、社会人としての経験を含めて熱く語ってくれました。先輩ならではの話に受講生も熱心に耳を傾けていました。

海外送金手数料の値上げが「痛い」

六浦 英文先生

郵便局で、海外の学会や学術書籍協会へ年会費を送金することになった。数年前は400円であった送金手数料が、今では2500円に跳ね上がった。6倍以上の値上がりである。

同窓会活動に向けて活発な意見 提案相次ぐ

続いて議案審議に入ったが、冒頭から陰下嘉典氏(16回)が「議長選出は内規により理事会の承認を得て、常務理事の中から選出する」となっているが、正副会長、担当部長以外から選出してほしいとの提案があり、議長に神田博氏(30回)、副議長に片山剛征氏(36回)を選出、一号議案の平成18年度事業報告ならびに収支計算書を承認、2号議案の平成19年度事業計画案および収支予算案をそれぞれ承認した。

しかしこの間、同窓会のあり方、事業内容、収支予算案の中身について議論が百出した。まず「臨時卒回理事会を開始したとあるのは何か、またこの2、3年支部長会が開催されてないのは何故か(正村公一 滋賀支部長)」「もっと密度の濃い支部長会を(濱忍 熊本支部長)」「臨時卒回理事会は70周年募金活動のため開かれたもの。支部長会は理事長交代もあつて開催できなかつたが、今年は必ず開催します」「事業報告、収支報告も粗雑だ。た

その結果、年会費よりも送金手数料の方が高くなったところもある。4つの学会へ年会費を送金するとなると、その手数料だけで1万円必要になる。民営化には「痛み」を伴うこともあると話には聞いていたが、実際に「痛み」を感じてしまった。「痛い」

ご挨拶

森川 滋先生

昭和50年以来勤めてきました経大も平成20年3月で定年退職となりました。この間、同窓生の皆様にはずいぶんお世話になりました。有難くお礼申し上げます。研究・講義・ゼミ等で地域に関する問題を扱ってきましたが、いまや、地域格差、地域再生、地方分権など課題が山積し、メディアを賑わしています。

退職後も、この地域問題に関する研究は続けて参りたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

卒業生の皆さん、お変わりありませんか？

渡辺 泉先生

私が大阪経済大学にお世話になって30年。渡辺ゼミの第1期の卒業生も50歳を超え、もう十分にオジサンしてることと思います。変わりありませんか？メタボリックは、大丈夫ですか？一度、元気な顔を見せて下さい。渡辺ゼミの卒業生と税理研究会の卒業生で、「白水会」を立ち上げました。来年度の1月26日(土)に第3回の集まりを大学です。都合がつかば、是非皆と誘い合わせて参加して下さい。待っています。詳細は、同窓会まで。

たとえばパソコン教室を開催とあるが、何人の参加があったのか。また休眠支部の取り組みについても、どの支部をどうするのか解からない(山崎敏輝氏31回)。「パソコン教室は3日間で開催550名が参加」「執行部の組織についてお伺いしますが、正副会長会議はどんな役割を持っているのか。また高級な場所で行っているのは何故か(陰下嘉典氏16回)」「常務理事会を運営するうえで重要議題を協議するためやっている。交通の便を考えて梅田界隈でやった事もあるが、指摘のような高級なところではありません。ただ、誤解されてはいけませんので、こころは学校でやります」「スポーツ・学術振興引当金とあるのはどのような目的の為にあるのか。有効利用を考えてほしい(鮫島圭体育会連絡協議会会長)」「在学生支援のため有効利用を考えたい」「先生方に対する支援はないのか」「先生方は学校から研究開発資金の供給を受けており、現実的には学生向け以外に考えていない」「事務局員の人件費は誰が決めているのか(平尾哲男氏28回)」「常務理事会で決めている」「名簿の管理は」「卒業生名簿の発行はしません。名簿管理は学校当局が行なっている」「学内に同窓会掲示板を作つてはどうか」「ぜひ検討したい」といった熱のこもつた提案、質疑応答が続いた。

本部だより

理事会報告
平成19年度同窓会
理事会開催

大学が勝ち抜くための支援、協力を推進

さる6月23日(土)本学50周年記念館で平成19年度同窓会理事会が開催され、挨拶に立った中平秀寛同窓会会長から「2007年度からの大学全入時代突入がささやかれる中、大変危機感を持って今年の入試を迎えたが、幸いにして14,863名と対前年比126.3%と、全国でもトップの志願者を集める事が出来た。また、就職状況も順調に推移し、大変喜ばしいことと思っております」と前置きし「同窓会は田中前会長の路線を踏襲し、同窓会運営をよりフェアでオープンにするため、激江、ケイタイデイズ、ホームページをもつてスピーディーに情報提供する、すなわち情報の共有化に努めており、もうひとつは、母校発展のため学校との連携支援を推進しております。本学は70周年記念館、国際交流会館、B、C館のリニューアルなど、ハード面の拡充はすべて終わり、ソフト面でも人間科学、地域政策学科の新設、各種講演会の開催などで経大の存在を内外に大きくアピールし

本部だより

平成 18 年度収支決算書 自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日 (単位: 円)

収入の部				支出の部			
科	目	決 算 額	予 算 額	科	目	決 算 額	予 算 額
前	期 繰 越 金	17,016,191	17,016,191	総	会 費	5,153,090	5,500,000
会	費 収 入	58,399,000	59,500,000	役	員 会 費	1,595,041	1,800,000
総	会 収 入	743,000	890,000	支	部 費	6,255,417	9,000,000
利	息 収 入	342,983	310,000	事	務 費	632,366	1,000,000
灘	江 収 入	1,134,170	600,000	人	件 費	4,860,000	6,750,000
名	簿 発行 積立 金 取 崩 し	16,003,045	16,003,045	旅	費 交 通 費	3,377,500	4,000,000
雑	収 入	55,200	0	広	報 活 動 費	17,242,326	18,000,000
				名	簿 調 査 費	542,398	550,000
				学	会 対 費	7,254,375	8,500,000
				諸	会 助 成 費	801,624	1,200,000
				慶	弔 費	249,620	500,000
				ス	ポーツ・学術振興 繰入金 支出	4,995,122	4,995,122
				特	別 基 金 繰 入 金 支 出	29,148,234	29,148,234
				予	備 費	0	3,375,880
合	計	93,693,589	94,319,236	次	期 繰 越 金	11,586,476	0
				合	計	93,693,589	94,319,236

平成 19 年度収支予算書 自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日 (単位: 円)

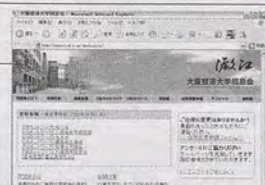
収入の部				支出の部			
科	目	予 算 額	摘 要	科	目	予 算 額	摘 要
前	期 繰 越 金	11,586,476		総	会 費	5,500,000	
会	費 収 入	59,500,000		役	員 会 費	1,800,000	理事会・常務理事会・各部会
総	会 収 入	750,000		支	部 費	9,000,000	運営費・支部総会援助
利	息 収 入	600,000		事	務 費	1,000,000	
灘	江 収 入	1,000,000		人	件 費	7,000,000	事務局人件費
				旅	費 交 通 費	4,000,000	
				広	報 活 動 費	19,000,000	
				名	簿 調 査 費	800,000	
				学	会 対 費	8,500,000	大学祭・クラブ活動援助 他
				諸	会 助 成 費	1,200,000	諸会援助
				慶	弔 費	500,000	
				予	備 費	3,700,000	
合	計	73,436,476		次	期 繰 越 金	11,436,476	
				合	計	73,436,476	

『灘江』購読料のお願い

「自らの購読料で『灘江』を育てよう！」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました。『灘江』購読料は、お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。
編集子一同は、このご声援に応え、親しまれる『灘江』を目指し、頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。
(ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です。)

同窓会ホームページもご覧ください！

同窓会活動をより身近なものとして活用していただくために、HPを作成しました。年間行事予定などがあり、住所変更の申請も手軽にできるようになっています。休止していた掲示板が復活しましたのでご利用ください。ご活用いただきご意見、ご感想をお待ちしております。



HP アドレス <http://www.osaka-ue-denke.com>

本部だより

土手勘次氏



引き続き第2部に入り、来賓として出席された真銅孝三理事長から「この6月から関西生産性本部会長などの要職を一切返上し、本学の認知度を高めるため、そして経済界の要望する人材を育てる学校にするために全力投球して行きます」との、また重森曉学長からも「経済・経営系の伝統を基盤に、市民としての良識とたくましい実践力を備えた多彩な職業人を育てるというミッション・ステートメントと、「つながる力N.O.1」という基本コンセプトを確立し、来るべき80周年に向けて一層の飛躍を図ります」との挨拶があり、理事会を終了した。

支部長会報告 平成19年度 全国支部長会開催

その後7階の同窓会ホールに場所を移し、今年90歳を迎え益々お元気で出席された土手勘次氏(6回)の音頭で懇親会が開かれ、久しぶりの再会に一同話題もはずみ、大いに盛りあがりみせた懇親会でした。

さる9月6日(木)午前11時から大阪新阪急ホテルで平成19年度全国支部長会議を開催した。
まず、挨拶に立った重森学長は「大学全入時代に突入し、大学志願者が落ちこんだ大学とそうでない大学の二極化が見られるが、本学は幸いにして前年比26・4%増と順調に推移し、就職率も2・5%アップした。また就職状況の把握率が大幅に向上した。就職指導センターのキャリアサポートシステムなどの施策が功を奏しているものと思っており、これに気を抜くことなく取り組んで行きたい。また、本学は市民としての良識とたくましい実践力を備えた、世の中で活躍し貢

献する多彩な職業人を育てるというミッション・ステートメントを制定し、「つながる力N.O.1をめざす」というブランド・イメージ戦略を構築した。これを基本コンセプトに、現在の自分と将来の自分とのつながりを大切にすることを教えていきたい。その意味から同窓会の役割は極めて重要であり、こんごともよろしくお願ひしたい」と、同窓会との協調を訴えられた。
続いて中平同窓会会長からは「平成18年2月の支部長会以来、同支部会が開催されなかったのは、前理事長の途中退任というアクシデントもあったが、大いに反省しております。これから経大の生き残りをかけて、1.大学当局と意見交換する、2.同窓生子弟入試を増やす、3.地方学生の支援策、寮や寄宿舎の設置、4.支部の活性化などに注力して行きたい」と、この同窓会活動を強調した。
また、福井支部の石橋支部長(32



支部長会で挨拶する重森学長

回)から「50歳以上のOBで3ヶ月に一度呑み会をやる」と大淀会を結成、大学訪問、講演会、子供会などを重ねてきました。とにかく地元で大学の名を上げなければ、我々の地位も上がらない。県庁、市役所、農協などの職域を中心に同窓生の一本釣りをやるうとしていきます」との、豊中支部の青木支部長(34回)からは「支部創立23年目、私は7代目の支部長ですが、「豊中支部だより」を独自に発行し、ゴルフ会、ハイキング、麻雀会、カラオケ会、ボーリング会、読書会など、あらゆる行事に参加を呼びかけ会員とのコミュニケーションを密にするよう心掛けております」との、報告があった。



支部長会で挨拶する中平同窓会会長

引き続き各支部長からの質疑応答があつて、懇親会でも互いに意見交換が続き有意義な支部長会を終えた。

大学の知名度 アップに 貢献したい

座談会出席者(順不同)

同窓会会長 中平 秀覧	アイススケート部 OB会長代理 梶村 貞男
体育会連絡協議会会長 鮫島 圭	バドミントン部監督 田島 裕司
ラグビー部OB会長 敷田 忠生	卓球部監督 吉田 卓爾
陸上競技部OB会長 堀本 修	司会 同窓会副会長 森川 義一
硬式野球部OB会長 大場 謙二	

以上

近年健康志向の高まりからスポーツが脚光を浴びる中、各大学がそのブランド力を狙って体育会・運動部の強化に動き出している。ハンカチ王子に代表される花形選手の活躍はその大学のイメージを一層高める結果となり、関西でも立命館大学や関西大学といった有名私学が、競って体育系学部の新設や特別推薦入試制度の採用により、体育会強化に乗り出している。ただ、こうしたスポーツ選手優遇策には、学力低下や運動選手の倫理観欠如などを理由に問題視する向きもあり、必ずしも足並みが揃っているわけではない。

翻って本学の実情はどうだろうか。経済・経営を主流とした単科大学として発展してきた本学は、一般総合大学と同じ道を歩むことはないだろう。しかし8万人近い本学同窓生は、やはり母校の活躍ぶりをマス媒体を通じて知るところを期待している。現に、今春硬式野球部が関西六大学春季リーグ戦において31季ぶり7回目の優勝を遂げ、全日本選手権大会に出場。引き続き秋季リーグ戦においても優勝したというニュースは、同窓生にうれしい、明るい話題として広まった。一方、ラグビーやサッカーのように、かつて全国的にも名を売っていた当時を知る同窓生達の間では「なんとかならんのか」といった不満の声も多く聞かれる。

そこで体育会連絡協議会のOB、監督に集まっていただき、本学の体育会強化策への取り組みなどについて、その熱き思いを語ってもらった。

——まず体育会連絡協議会の会長である鮫島さんから伺います。本学の体育会系クラブに対する対応ぶりをどう見ておられるのか。

鮫島 箱根駅伝で優勝した順大の広告効果はなんと58億円を上回ったといわれるほど、体育会系運動部のブランド力は飛躍的に高まり、各大学は競って特別推薦入試制度を見直し、有名、有力選手の獲得に手を打っている。本学においても2006年4月の学内理事会決定および教授会承認を受けて発足した「スポーツ・特技推薦入試検討委員会」

——その中味には…

鮫島 私は極めて不満です。ご案内のように、2001年に体育会連絡



2007年関西六大学春季リーグ戦で優勝に喜ぶ硬式野球部の監督と選手たち

事務局だより

本部役員一覧

2007.11.20 現在

氏名	役職	卒回	氏名	役職	卒回	氏名	役職	卒回
中平 秀覧	会長	25	辻本 清孝	総務部	31	植村 祐三	監事	32
小谷 芳男	副会長・総務部長	24	南 正治	総務部	43	大西 健介	監事	35
森川 義一	副会長・広報部長	25	片山 剛征	広報部	36	山内 淳子	監事	47
水納 敏也	副会長	25	梅原 猛	広報部	62	磯野 齊	名誉会長	3
津秋 靖博	副会長・組織部長	29	市原 幸恵	財務部	42	陰下 嘉典	相談役	16
中村 敏啓	副会長・財務部長	31	二宮 勉	財務部	65	田中 富三	相談役	18
佐藤 武司	支援部長	30	斎 貞文	組織部	30	南部 俊一	顧問	11
竹中 亨	事務局長	32	福地 利仁	組織部	39			
宇藤 博文	総務部	28	神田 博	支援部	30			
田村 正晴	総務部	30	藤原 広太郎	支援部	54			

同窓会支部長一覧

2007.11.20 現在

支部名	氏名	卒回	現住所	電話	E-mail アドレス
北海道	道京 山	24			
	北東 富	34			
	石 福	23			
	岐 静	21			
	愛 三	32			
	滋京 大	29			
	大 北	26			
	豊 池	25			
	泉	38			
	泉	27			
大阪府	阪 市	35			
	役 所	26			
	中 田	43			
	南	28			
	崎 神	34			
	戸 有	27			
	馬 石	24			
	磨 路	33			
	島 良	25			
	山 取	34			
奈良県	根 山	35			
	山 山	30			
	後 島	19			
	口 島	32			
	本 藤	34			
	井 口	23			
	内 本	28			
	藤 口	39			
	原 野	22			
	本 池	35			
和歌山県	山 本	37			
	林 本	44			
	野 崎	32			
	田 田	31			
	小 野	26			
	植 寒	32			
	濱 福	52			
	前 西	40			
	西 岐	35			
	島 中	32			
九州	本 谷	16			
	川 鍋	18			
	真	37			
	池 田	31			
	銀行 経	28			
	友 会	31			
	会 会	28			
	大 樟	32			
	立 大	34			
	税 理	35			

大学の知名度アップに貢献したい

協議会を立ち上げた時に、次の4点を挙げて要望書を提出しております。その1番目は、運動能力の優れた学生の多数かつ継続的な確保。2番目は有能な指導者の密着指導。3番目は適切な運動場、運動時間の確保。4番目は豊富な活動資金の確保と適正使用——これがないことには強くないと要望しました。つまりスポーツ推薦枠の70名から100名の増枠をはじめ施設の拡充、選手強化費の増額などを要請してきましたが、逆に評価基準の見直しからラグビー部は13名から10名に、陸上競技部は8名から5名に減少され、強化どころか後退する方向にある。我々としては、今後同窓会と連携して学校側と充分話し合いをし、こうした姿勢を改めてもらうよう働きかけて



ラグビー部OB会会長 藪田 忠生 (25回)



いきたいと思っています。——ただ、学校側の姿勢は山梨学院大学の駅伝、関東学院大学のラグビー、阪南大学のアイススケートなどのように強化クラブを絞って大学の名を挙げても、それが入試願者の数の増加につながっておらず、大学の知名度アップに結びついていないのではないかと考えられているようです。この辺のギャップが大きいのではないですか。

鮫島 はつきり言ってます我々と学校側との間に共通の認識はない。私が評議員をしていた時、大学と同窓会との間に特別の懇談会を作って、双方

が理解し合う場を設けなくてはならないと提案したので。この提案を教授会に持ち帰って検討するということでしたが、残念ながらその後なんらの返答もありません。今の大学の意識はその程度なんです。我々は大学の知名度アップに貢献する体育会を生むため相互理解が必要であるという思いを持ち続けています。

推薦枠の強化を

——大学側では今回のスポーツ推薦入試制度の見直しに際して、体育会系クラブの強化と活性化という基本方針を継続するとしていたうえで、現行の推薦枠70名は本学の総定員数1490人の4.7%に当たり、他大学と比べても妥当であるとしている。また、クラブ強化費も2300万円から2640万円にわずかではあるが増額したとしています。

鮫島 評価基準の見直しによって、たしかに推薦人数も増え、強化費も増えた部もありますが、評価基準そのものがよくわからないし、4.7%が妥当だという認識も理解できない。

藪田 今回の見直しに対してラグビー部のみならず、多くの運動部は不満であると言わざるを得ません。国は国民のために政治をする。企業



体育会連絡協議会会長 鮫島 圭 (18回)

はお客さんの満足のために技術力を磨く。そうしないと生き残れないからです。大学は何をもって経営をしているのか。学校は学生に学問を身に付けると同時にスポーツで名を売り、知名度を上げて学生を集める。これが車の両輪でなければいけない。東西を問わず、有名大学はこれをうまくかみ合わせています。そう考えてみると本学の推薦枠はどうか。4.7%だから妥当な線だと言われているようですが、何ををもってそう言えるのでしょうか。我々のラグビー部は15名でやるスポーツですから、それも厳しいスポーツですから

大学の知名度アップに貢献したい

3チームから4チームの編成ができないと1シーズンを乗り切れない。本学ラグビー部の創部は昭和11年。今日まで各先輩が脈々と積み重ねてきた努力の成果が推薦枠13名なんです。その結果37年間関西のAリーグで戦ってきたのです。残念なことに5年前入れ替え戦で関西学院大学に敗れてBリーグに転落したのですが、Aリーグ復帰に向けて500人ものOB諸氏は大学側の理解を望んでいます。

——陸上競技部も8名から5名に減少したのですね。

堀本 まず、言いたいのは大阪経済大学の名は、関東や地方へ行けばどうでしょうか。答えを待つまでもありません。では、何を名にかけて世に打つのか。経済の専門家として世に打つ



アイススケート部OB会会長代理 梶村 貞男 (37回)

て出る論客の先生がいるのでしょうか。そうでないとしたらスポーツによってマス媒体を利用した方法しかないでしょう。私は担当の教授を訪ねて何故陸上競技部の推薦枠が減少したのか聞いてみました。陸上競技は36種目あります。これまでの8名の推薦枠の時でも、全ての競技にエントリーすることができなかったのに、5名に減らすとは何を基準にしたのかを教えてくださいました。このままでは大学駅伝の予選会出場も危ぶまれると言いました。それでも教授から納得のいく答えは返ってきませんでした。

だから残念なことですが、毎年万博公園で行なわれるABC万国博マラソン大会に、陸上競技部としての参加は辞退することにしました。言いたくはありませんが、びわこ一周大学駅伝に参加する学校で、400メートルのトラックを持つていない陸上競技部は当校だけです。1周250メートルと中学校並みの施設しかない。それでも頑張っているんですよ。

藪田 単科大学といわれた学校がそれなりに頑張ってきたのは我々の熱意なんです。OBが、同窓会が何とか強くなりたいという結束力がそうさせたのです。

大場 野球でもそうですが、学校側

に面倒をみようという意識がまったく感じられない。OBに任せておけばいいという考えのようですが、OBとして限界があります。

——アイススケート部はどうですか。

梶村 我々の部は前年度まで競技種目Bで、19クラブで15名の推薦枠ということでした。したがって実質的にはスポーツ推薦という対象にはならないと思っておりましたが、今年からAにランクされましたので、積極的に選手確保に乗り出そうと思っています。幸い上村大輔というジュニア世界大会出場という強い選手がおりまして、この選手の父親が当部のコーチを兼ねており、その知名度からも選手を集めやすい状態にあります。このため阪南大や京産大を志望していた選手が経大に入学できるようなりました。

——卓球部は1部に昇格されたのですか。

吉田 昨年のリーグ戦で優勝し、1部昇格を果たしたんですが、春のリーグ戦で8位になり、2部降格となりました。ただ、今秋再び優勝できましたので来春は1部で試合します。卓球部は競技種目Aで2名の推薦枠を頂戴しておりますが、良い選手はほとんどが関東へ行きます。残った選手の中でも、学校で4番手か5番手といった実力の選手しか来

てくれません。それに本校はスポーツ推薦入学の決定が遅すぎます。早い大学では高校2年のインターハイ終了時に決まってしまうこともあるようです。もっと早く結論を出してほしいですね。

堀本 卓球のように2名の推薦入学者を確保できれば、何とかリーグ戦を乗りきれるところで、陸上競技は先にも言いましたが36競技もある。長距離もあれば短距離もある。立命館などは長距離だけで20名も採るのですよ。



陸上競技部OB会会長 堀本 修 (24回)

大学の知名度アップに貢献したい



大学間の選手獲得競争が激化

——先に東京経済大学と定期戦をやられたそうですが、このところ連敗続きだそうですね。

堀本 東経大は400メートルトラックと別にタータン専用トラックと2面の練習場をもっている。だから長距離ではなんとか戦えるのですが、短距離では歯が立たない。それに箱根駅伝をめざして長距離選手30名を収容する寮を建設中で、コーチにNHKテレビでお馴染みのマラソン解説者を招くという力の入れようです。

——これまでの東経大との定期戦の戦績が37勝18敗と大きく勝ち越していたと聞いていましたが、これから大変ですね。

堀本 向うの監督さんから「大経大には悪いけど、これから20年間は負けることはないでしょう」といわれましたよ。当校が全日本駅伝に出場していた頃は、兵庫県の報徳学園や西脇工業といった有名校の選手を

まだ採れていたのですが、先の東経大の話ではありませんが、どの大学も選手確保にやっきになり始めましたからね。



同窓会会長 中平 秀寛 (25回)

——バドミントン部はどうですか。

田島 アイススケート部と同様に競技種目Bの時は、選手を採れるかどうかかわからない状況ですから、選手集めに苦労しましたが、4年前からAになり、2名推薦枠を頂戴してからなんとか団体競技を戦えるようになりました。それでも体育館使用に制限があり練習時間も十分に取れないというハンデを背負い、これまでセレクションにあまり積極的でなかった関学や同志社が積極的に動き始めていますのでこれからが大変です。現在の関西リーグの1部は近

大立命館、天理、大経大、龍谷、京産大の順序で、2部は関学、同志社、関大となっておりますが、今の高校生はやはり関学、立命館、同志社を志向しており、今後の選手獲得競争は熾烈です。

——一応各クラブの実情を伺いましたが、これを学校側と話し合っているのはやはり同窓会が中心となつて

なつていくことは当然であります。個別に云うならば、推薦枠70を100にせよとか、グラウンド設備を整備しろとかいろいろありますが、1点重点主義でとりあえず絞りこむことが必要ではないでしょうか。なにしろ学校側と我々とに感覚の相違があり



バドミントン部監督 田島 裕司 (46回)

クラブの持つタテ社会のリストをうまく利用して「隠れ経大人」を掘り起こすことができないでしょうか。

藪田 ラグビー部も500人ほどのOBがいますが、年1回のOB総会も集まりが悪いですね。OBが集まれば「いま何で弱くなったんや」こればかりです。強くなればOBも集まる。それに個々のクラブだけでなく体育会クラブ全体の集いを考えては如何ですか。わが社に関学出身の男がいます、その男が関西学院スポーツクラブという組織に入っており、その会のゴルフ会に参加して他の運動部の人もコミュニケーションをとっていると聞いたことがありますが、経大にもそんな組織がありません。経大にもそんな組織が



卓球部監督 吉田 卓爾 (32回)

ますから。それにこうした問題を処理する窓口すらはつきりしない。立命館ではスポーツ振興課という窓口があり、その担当理事がおられる。私も理事の一人として窓口をはつきりとさせたいと思っています。

「隠れ経大人」を掘り起こせ

——ここで話題を変えて「隠れ経大人」を呼び戻すため体育会系クラブが一役買えないかという提案です。実は本学の卒業生は8万人近くいます。しかし同窓会誌「澁江」の発行部数はその半分です。つまり卒業生の所在を掌握できていないのです。これが大学全体のパワーの盛りあがりや欠く要因のひとつとなっているのではないのでしょうか。そこで体育会

集まりも良くなったでしょう。大場 そうですが、30代、40代という中間層の集まりが悪いんです。

堀本 堀本さん、東経大との定期戦の際、双方のOBも参加して交流会をやっておられますね。

堀本 東京で開催の時はあちらに就職している者が駆けつけてくれますが、これも物入りでね。(笑)まあ若い人は来ません。いろいろお金を取

られる。子供に金がある。まあ大変でしょうが、学校にどれだけお世話になったか、考えてほしいですね。

吉田 卓球部もOB会をやっても40人程度で、若い人は来ません。卒業時に所在だけはつきりとしておくようにと指導しているのですが……

大場 小学校や中学校の同窓会に行けば担任の先生を中心に話題が集まる。大学のOB会にはそれがない。

田島 若い世代のOBは東京や地方に就職して関西にいないのです。

梶村 うちも200人ぐらいのOBがいますが、皆さんの部と同じです。「上村大輔君を励ます会」をやろうと



呼びかけても、出席すればお金を取られるのでだんだん集まりが悪くなります。

——何とか大経大のOB会が力を結集して学校を盛りたてていこうという思いから、体連協で何かできることはないだろうかという提案したわけですが、いすれにしても体連協加盟のクラブが強くなければOBも集まってくれません。強くするために学校側も我々の主張に耳を傾け、一層の支援策を講じてもらわなければなりません。このことをこの座談会のまとめとして終わりたいと思います。長時間ありがとうございました。



硬式野球部OB会会長 大場 謙二 (24回)

ズームアップ! 経大人

Z O O M U P K E I D A I J I N

岡山県美作県民局局長に 就任された

杉山 誠一氏 (39回)



岡山県津山市出身 56歳
昭和44年3月岡山県立津山高校卒、
同年4月大阪経済大学経営学部経営学科入学
昭和48年3月同校卒、
同年4月岡山県美作土木事務所に就職
昭和59年4月土木部建築課主任
平成5年4月総務部財政課財政主幹
同10年4月農林水産部林政課長代理
同12年4月同組合指導課長
同14年4月同農政企画課長
同16年4月産業労働部人権施策推進室長
同18年4月総務部次長
同19年4月美作県民局局長

2年前振興局の再編で誕生した県内3県民局のひとつである美作県民局の2代目の局長として今春就任した。「美作三湯をはじめとした美しい自然、昔ながらの文化や歴史が大切に守られている。これらのスケールメリットを生かした観光振興などに積極的に取り組み、元氣と活力ある地域にしたい」と、30年ぶりに故郷に錦を飾った男の口調は軽やかだ。

岡山県津山市出身の56歳。岡山県立津山高校から本学経営学部経営学科に進み、千葉ゼミで地方自治を学ぶ。「お祖父さんが学校の先生で、父が公務員という家庭で育ったためか、ごくまじめな学生でしたが、入学した当時は東大紛争の真っ只中で本学も大変でした。そんな中つい誘われるまま日本拳法部に入部、練習に明け暮れていました。入部した前年、全日本の大会で優勝したというから厳しい練習を強いられました。が、お蔭で私も結構腕を上げましたよ」と、にんまり。

どうやって採れたのかわからないものでなく、地元で採れた安心で安全な食材を食べることで、子供達は命の大切さを学び、地域を愛する心を、郷土愛を育んでもらいたかった」という。さらにファーマーズマーケットの入園無料化にも携わり、総務部財政課時代には母校の津山高校の全面改修に携わった。

柔軟な思考で、活力ある地域開発へ

前任の総務部次長時代には、第3次行財政改革に取り組み、「行政や一部の人が物事を考え、行動してきた時代は終わった。今後の未来を切り開くのは住民自身。その住民の力を発揮できる場を設けるのが行政の仕事。そのことで地域本来の魅力、発展の可能性が見出せるということを感じさせられました」と、ここでも柔軟な思考力を大いに養った。

「座右の銘は」と話題を変えた。「陽転思考です。悩んでいてもいいことにはならないでしょう。マイナス思考はダメですね」と、どこまでも明るさを忘れない。長男、長女はそれぞれ独立し、生家で母と妻の3人暮らし。休日には自宅の家庭菜園やバラの手入れでリフレッシュしている。

さる4月の人事異動で山口県庁の地域振興部観光交流課長から県周南県民局長兼周南県税事務所長のポストに抜擢された。「これまでの観光や地域振興での経験を生かし、県民力、地域力を引き出すことに努力したい」と、やる気満々。

藤原さんは萩市出身の58歳。昭和46年3月、本学経済学部を卒業後県庁入りした。学生時代写真部に所属し、将来は新聞社の報道カメラマンになりたいと思っていたのですが、夢がかなわず郷里に帰って県庁入りしたという。その時の面接の際「学生時代写真部にいた」ということが認められ、企画部広報課に配属され、新聞記者を相手に広報活動に精を出すことになる。

「県民力引き出す努力したい」

ことになるが、観光交流課時代の2003年から2年間東京・日本橋にある「おいでませ山口館」の館長を務めるなどし、また徳山県税事務所にもいたこともあり、約30年ぶりの県税事務所勤務となる。

好きな言葉は「好奇心」で、それがエネルギーの源と言うだけあって「学生時代の鈴木正里ゼミで学んだ労務管理が今の仕事のこやしとなってます」とし、「マルクスの資本論をもう一度読み返そうかと思っています」と、勉学に前向きな姿勢を忘れない。

趣味は写真、山歩き、ぐい飲みのコレクションと多彩。山口市の実家に妻恵子さんと二男一女（ともに社会人）を残し、目下周南市に単身赴任中。

山口県周南県民局長兼 周南県税事務所長に 就任された 藤原 俊明氏 (37回)



税理士大樟会会長として母校出身の税理士の指導的役割を果たしておられる長谷川宗平氏（28回）が、平成19年春の叙勲において税務行政事務功労として「瑞宝小綬章」を受章された。

「さる5月11日、私共夫婦は尾身財務大臣から勲記・勲章の伝達を受け、その後皇居に参内し、「春秋の間」において天皇陛下に拝謁、厳粛な雰囲気の中で叙勲という重みを実感いたしました。40年にわたり税務職員として、誠実に職務に取り組みできましたが、この度の栄誉に恥じることのないよう、税との関わりを天職と考え、税理士として引き続き微力ながら努力して参りたいと考えております」と、受

税務一筋の道に光



長谷川宗平ご夫妻

瑞宝小綬章を受章 長谷川 宗平氏 (28回)

章の喜びを語っておられた。

長谷川氏は、昭和30年4月、兵庫県立小野高校から税務講習所（現税務大学）大阪支所に進み、卒業後は第一線の税務署に配属され、その後昭和33年4月に、昼は働きながら本学の経済学部（第2部）に入学、同37年3月に卒業されて、以来40年間税務の道一筋に歩んでこられた。この間大阪国税不服審判所神戸支所長、柏原税務署（兵庫県）、西税務署（大阪市）、東大阪税務署（東大阪市）の各税務署長を歴任、平成7年退職後、長谷川税理士事務所を開設し、現在も現役税理士として活躍しておられる。

「道理は天地を貫く」

〜黒正巖の生涯〜



この度、昭和高等商業学校創設者で、大阪経済大学初代学長である黒正巖の生涯を通して、本学の、あるいは日本経済史研究所の歴史を記録するビデオを制作しました。昨今、高等教育研究の「危機」が叫ばれるなか、大学は自らの歴史をアピールすることによって差別化をはかるうとしています。本学も黒正巖をはじめとする先学によって誇るべき歴史が刻まれてきました。またそれを記録する作業も、創立50周年と70周年を機会に先輩達によって実行されました。しかし、その作業は途切れがちであり、本学の歴史を叙述するところまでには至っていません。浪華高商時代はいうまでもなく、昭和と高商時代も、関係教職員はもとより、卒業生でさえ、歴史を証言していただける方が少なくなっています。貴重な証言を得る時間はあまり多くを残していません。そこで、日本経済史研究所としてお役に立てばと思い、研究所の創設者の一人である黒正巖の生涯を描くビデオの制作に取り掛かることにしました。その際、多くの関係者にインタビューすることにしました。

幸い、黒正巖のご子息、黒正清さん、黒正明さんのご両名がこの計画に参加してくださいました。実は、このご両名が元気に証言の聞き取りに飛び回っていた期間に、なんととしてでも、と考えました。できあがりしたビデオは清さん、明さんならではないものですよ。

2007年10月

日本経済史研究所
所長 本多三郎

●お申し込み方法

DVDまたはVHSビデオのご希望を明記し、現金書留にてお申し込みください。

●販売価格

送料込みで1500円

●お申し込み先

大阪市東淀川区大隅2-12-18
大阪経済大学同窓会事務局

平成19年度
大阪経済大学同窓会総会
11月3日



▲学園の近況報告する重森暁学長



▲祝辞をのべる真銅孝三理事長



▲あいさつする中平秀寛同窓会会長



▲中平会長・真銅理事長、重森学長による鏡開き

▲関西六大学野球秋季リーグ戦での優勝報告をする硬式野球部部長林道先生と脇村君(右)岸田君(左)



▲感謝状を受ける福地利仁氏(前大阪市長役所支部長・39回)



▲吹奏楽総部による歓迎演奏



▲道謡歌の音頭を取る小池勝章氏(備後支部長・32回)



▲乾杯のあいさつをする上野満里子さん(豊中副支部長・14回)

学 歌

作詞 秋本吉郎
(元本学教授)
作曲 柴田南雄
(元東京芸術大学教授)

1.
大淀の 水は春ゆく
ゆたかな春だ
芽立つ葦原 緑が沁みる
この若さ
希望は明るい 蒼穹かけて
永遠の青春 みなぎる学園
大阪 大阪経済大学

2.
大樟の 蔭は裕々
夏風そよぐ
学徒師弟が 幹負いもちて
諸汗に
確かと植えた 融和の象徴
繁れ自由の 花さく学園
大阪 大阪経済大学

学園歌

作詞 黒正巖
(昭和高商初代校長)
作曲 水野康孝
(元本学教授)

1.
商都の東北^{でんこう}江に
臨みて高く聳り立つ
我等が昭和学園は
産業日本を双肩に
担うて進む若人の
力の糧の広野原

2.
一千余年の其の昔
大隅の宮の在りませし
聖き跡の学園は
忠孝日本を心肝に
銘して学ぶ若人の
教えの道の元標

3.
黒煙天をひた蔽い
船車どよもす八衝を
静かに臨む学園は
科学日本の究明に
生命を注ぐ若人の
心の花の咲く園生

逍遙歌

作詞 中村行男
(16回卒)
作曲 松川圭一
(15回卒)

1.
此処 城北に迎えたる
紺碧^{こんぺき}淀の春の夢
惜春の賦のただよえば
薫風静かに流れ来て
逝きし苦節の十余年
歴史は吾等に教うなり

2.
水や濁れる人の世に
真理^{まこと}求めて遊ぶ子の
友愛^{くおん}久遠に変わるまじ
汝が悲しみに我は泣き
吾が喜びに君や舞う
惜しみて励め我が青春を

3.
踏めば小草も柔き
弥生の庭に集い来し
我が学舎の乙女子は
生命^{いのち}新たな此の曲に
花咲く野山^{のやま}花の下
声美しく歌うかな



でんこう
澱江
2007

■発行日 2007年12月20日
■編集 同窓会広報部
〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 電話 (06) 6328-2431
メール denko@osaka-ue.ac.jp URL http://www.osaka-ue-denko.com/
■印刷 凸版印刷株式会社
〒553-8580 大阪市福島区海老江3-22-61 電話 (06) 6454-3256